

平成18年度 高等学校教科「情報」研修講座

高等学校 教科「情報」における

# 情報モラルの育成 に関する教材開発

～ イントラネットを利用した授業展開 ～

- IISを用いたWebサーバの構築
- ASPページの作成
- ASPを用いたデータベースの利用
- 生徒用グループウェア(情報サイト)の利用

岩手県立総合教育センター 情報教育室

<http://www1.iwate-ed.jp/>

# 目次

## 第1章 Webサーバの構築

1	イントラネット内のWebサーバ構築	1
2	Webサーバとは？	3
3	IISのインストール	3
4	IISの設定確認	4
5	CGIとは？	10
6	ASPとは？	10

## 第2章 データベースアプリケーションの作成

1	ASPページの基本的な作成	16
(1)	ASPページとは？	16
(2)	文字列の表示	17
(3)	関数の利用	18
(4)	配列データの表示	19
(5)	繰り返し処理	20
2	外部ファイルへの読み込み	21
(1)	アクセスカウンターの作成	21
3	データベースへの接続	22
(1)	テキストファイルの表示（ODBC接続）	22
(2)	Accessデータファイルの表示（DSN-LESS接続）	25
(3)	アンケート回答ページの作成	27
■	入力フォームの作成	28
■	確認画面の作成	31
■	登録完了画面の作成	32
■	アンケート回答システムの利用方法	34

## 第3章 生徒用グループウェアの活用の作成

1	生徒用グループウェアの概要	36
2	生徒用グループウェアの設置方法	37
3	生徒用グループウェアの設定方法	39
4	生徒用グループウェアの利用方法	40

参考資料	VBScript関数	45
参考資料	URL	47
参考資料	文献	47
参考資料	SQL文	48
参考資料	エラー表示	49
参考資料	配布CD	50

# 第1章 Webサーバの構築

## 1 イン트라ネット内のWebサーバ構築の利点

高等学校の新学習指導要領が昨年度から施行され、新教科「情報」が導入されました。昨今の高度情報通信社会においては、社会の一員として主体的な「情報活用の実践力」や「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」を育てることが求められています。

このような背景に基づき県の具体的な取り組みの一つとして、イントラネット「いわて教育情報ネットワーク」が敷設され、県立学校のネットワーク環境も整備が完了しています。授業においてはこれらのネットワーク環境を利用して、インターネットや電子メール等の実習を、実習室のみならず教室等からも行うことができるようになりました。

さて最近、掲示板やチャットなどのネットワーク利用が引き金となっている事件が頻発しています。このような中、教科「情報」においては、アプリケーションの操作実習に終始せず、情報モラルの育成も大きな配慮事項として捉えられています。しかし、授業ではインターネット上に公開されている掲示板やチャットを利用した授業はあまりにも危険があります。

そこで情報モラルの育成を事例紹介だけでなく、体験的に行うためにも、掲示板やチャットを実際に操作しながら指導を行う環境を実習室内のネットワークに整備してみましょう。実際には、実習室内にWebサーバを構築することで先に述べた環境が整います。さらには、Webサーバの機能を持たせるPCをどこに設置するかで、校内用としても活用度が広がります（図1）。

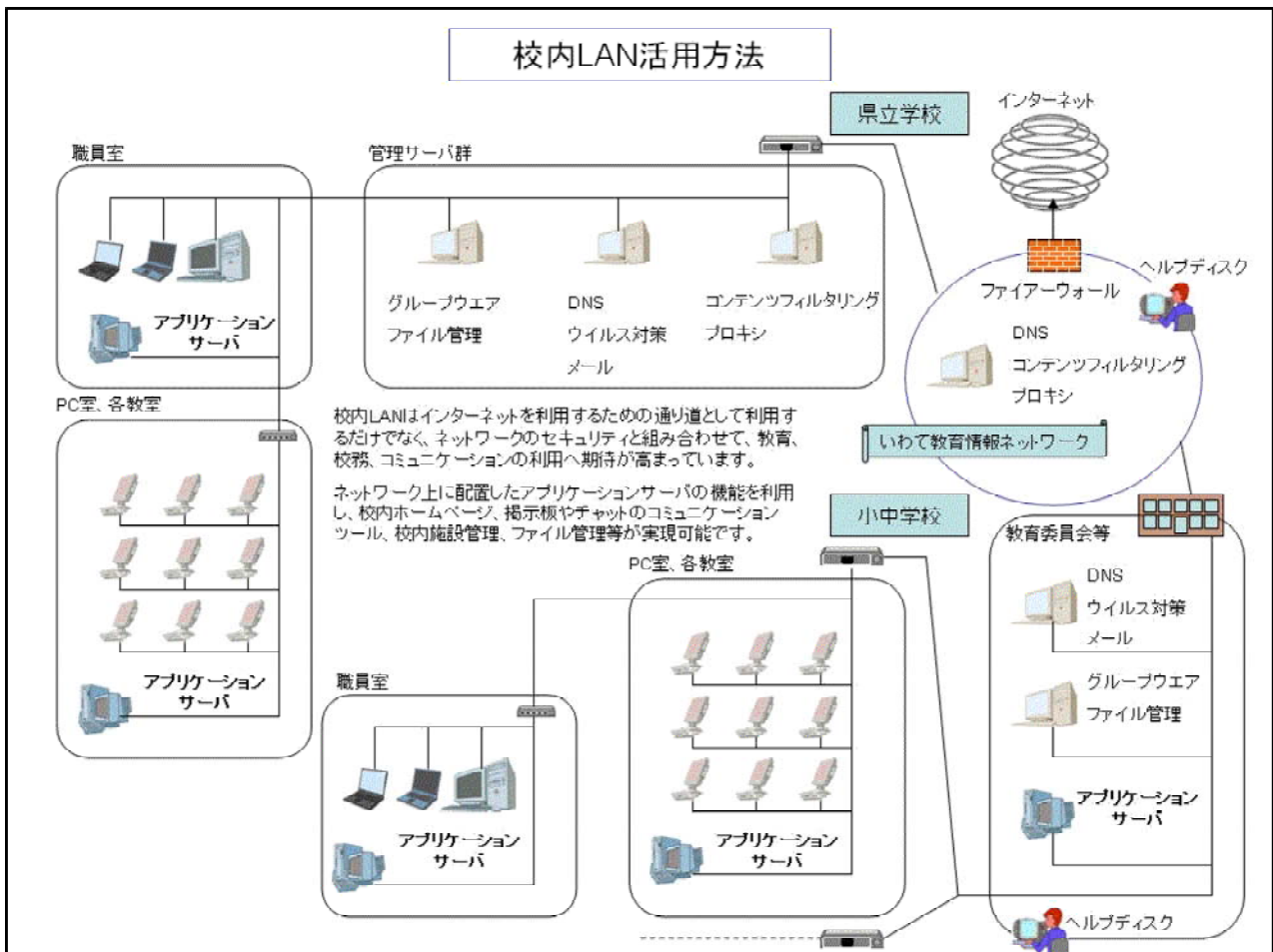


図1 校内LANの活用方法

ネットワークを利用した実習が考えられる単元を以下（表1）に示しました。既存の環境ではインターネットや電子メールが中心の実習が、Webサーバを構築することによって、ファイル転送（FTP転送）や掲示板、チャットなど実習室内で具体的な実習が可能になります。

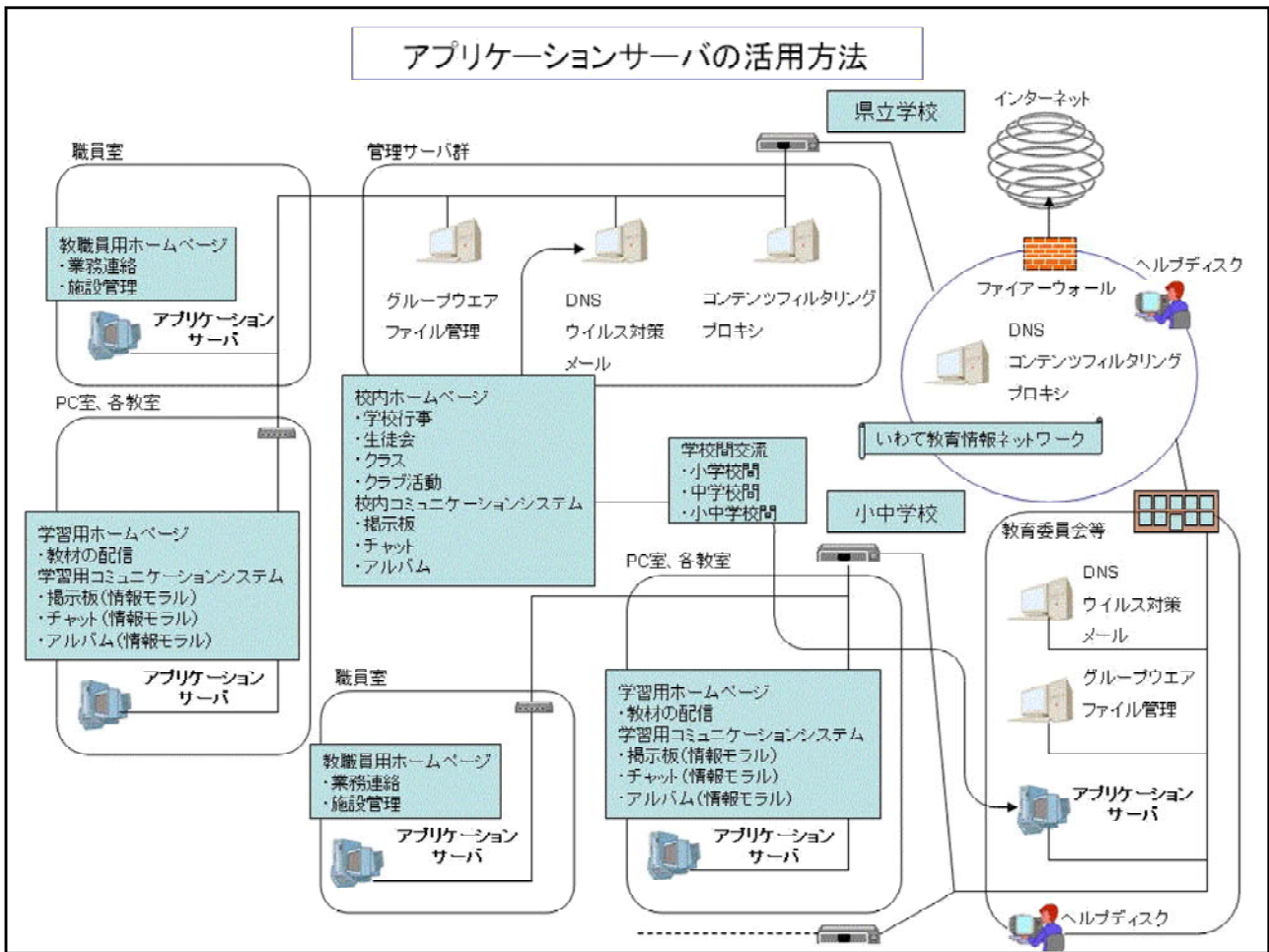


図2 アプリケーションサーバの活用方法

表1 ネットワークを利用した実習が考えられる単元（高等学校 教科「情報」）

情報A	(1) 情報を活用するための工夫と情報処理	ア 問題解決の工夫	Web検索による情報収集
		イ 情報伝達の工夫	e-mail利用のマナー
	(2) 情報の収集・発信と情報機器の活用	ア 情報の検索と収集	検索サイトを利用したWeb検索
情報B	(3) 情報の統合的な処理とコンピュータの活用	ア コンピュータによる情報の統合	Webページ作成・FTP転送
		イ 情報の蓄積・管理とデータベースの活用	Web検索
		ウ コミュニケーションにおける情報通信ネットワークの利用	e-mail、チャット、掲示板の活用
情報C	(1) 情報のデジタル化	ア 情報通信ネットワークの仕組み	Web検索
	(2) 情報通信ネットワークとコミュニケーション	イ 情報通信ネットワークを活用した情報の収集・発信	Webページ作成・FTP転送
	(3) 情報の収集・発信と個人の責任		
その他	授業の記録（生徒の感想等をWeb上に入力：掲示板形式）		日常的に
	意見交換（あるテーマについて議論する：チャット形式）		日常的に

## 2 Webサーバとは？

インターネット上のWebページを見るためのしくみはどのようになっているのでしょうか？  
まずコンピュータを起動し、さらに Internet Explorer などのブラウザを起動して、アドレスバーに閲覧したいサイトのURLを入力することによって、該当のページが表示されます。これは、特定のコンピュータにWebページのファイルが蓄積されており、そのコンピュータは「Webページを表示させてくれ！！」という要求に対して、応答していることとなります。そこで、閲覧者のこの要求に対して応答する機能を持っているのが、『Webサーバ』ということになります。さらには、コンピュータにこのような機能を持たせるためには、『Webサーバソフト』をインストールしなければなりません。

Webサーバソフトも世界的に有名なフリーソフト「Apache」や日本語版の「AN HTTPD」、「Black Jumbo Dog」、そしてマイクロソフト社の「Internet Information Service(通称 IIS)」などがあります。それぞれ、長所や短所がありますが、今回の実習ではマイクロソフト社の IIS を用いてWebサーバを構築します。

## 3 Webサーバソフト (IIS) のインストール

それでは、IIS をインストールしていきましょう。WindowsXP Professional では、OSの標準インストールでは、IIS はインストールされていません。

- (1) WindowsXP のデスクトップ画面の左下の「スタート」ボタンをクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。



- (2) 「プログラムの追加と削除」をクリックします。

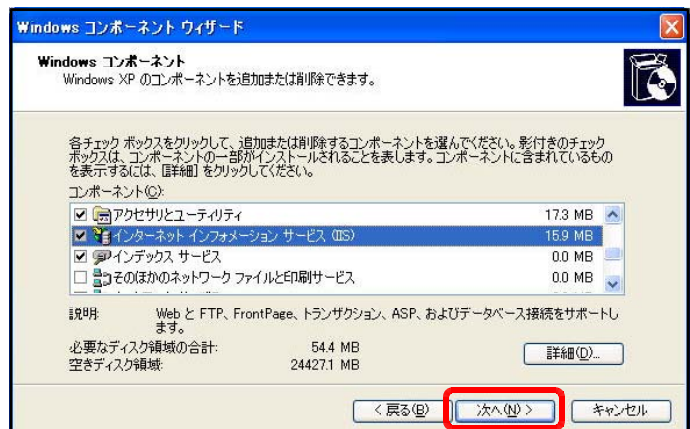
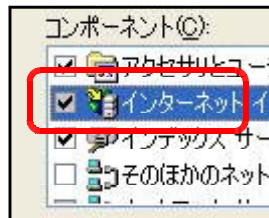




(3) 「プログラムの追加と削除」ダイアログが表示されますので、「Windowsコンポーネントの追加と削除」をクリックします。

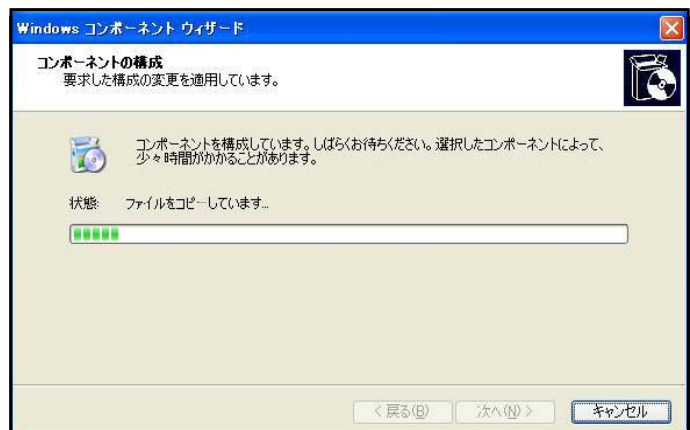


(4) 「Windowsコンポーネントウィザード」ダイアログが表示されますので、[コンポーネント] 一覧の『インターネット インフォメーション サービス (IIS)』にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。



(5) インストールの進行状況が表示されますので、しばらく待ちます。

(注) ここで、WindowsXP の CD が求められる場合がありますので、CD をドライブに挿入して、読み込むドライブを指定してください。

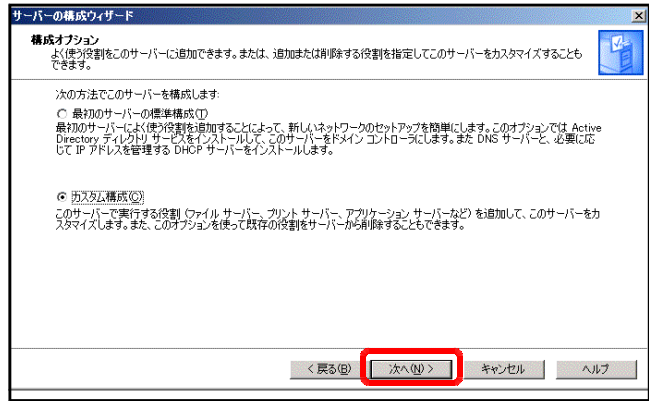


(6) 「Windowsコンポーネント ウィザードの完了」が表示されますので、[完了] ボタンをクリックして、インストールは終了です。

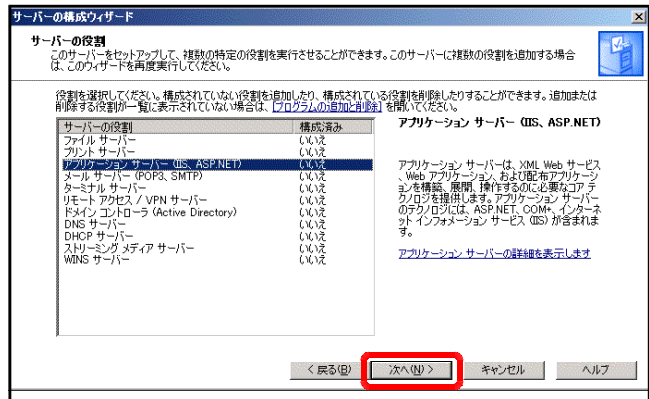




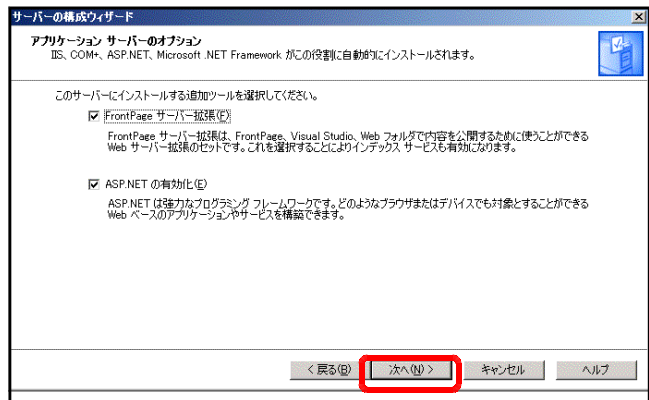
- (c) 「カスタム構成」にチェックを入れて、  
[次へ] ボタンをクリックします。



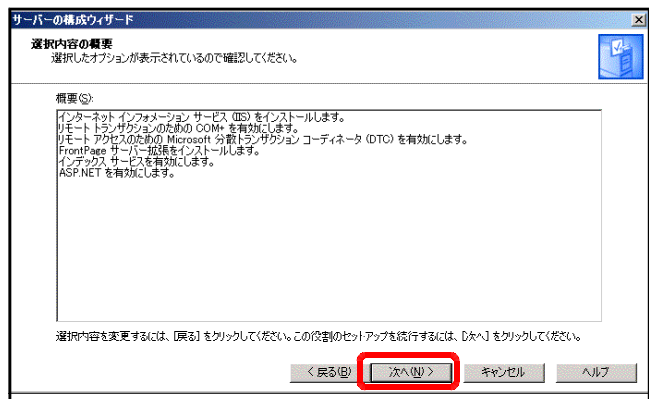
- (d) [アプリケーションサーバ] を選択して、  
[次へ] ボタンをクリックします。



- (e) 「FrontPageサーバ拡張」「ASP.NETの有効化」にチェックを入れて、  
[次へ] ボタンをクリックします。



- (f) その後はダイアログのメッセージに応じて  
[次へ] ボタンをクリックしていくと、  
インストールが完了します。



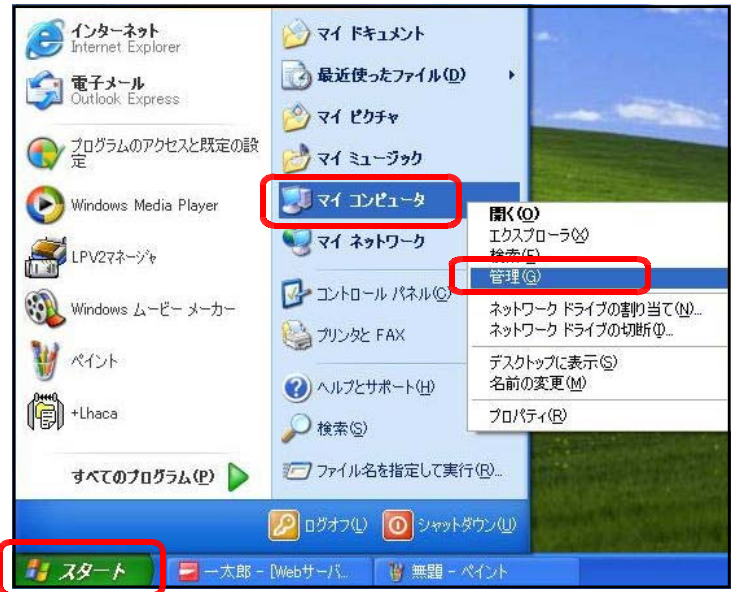


## 4 Webサーバソフト (IIS) の設定確認

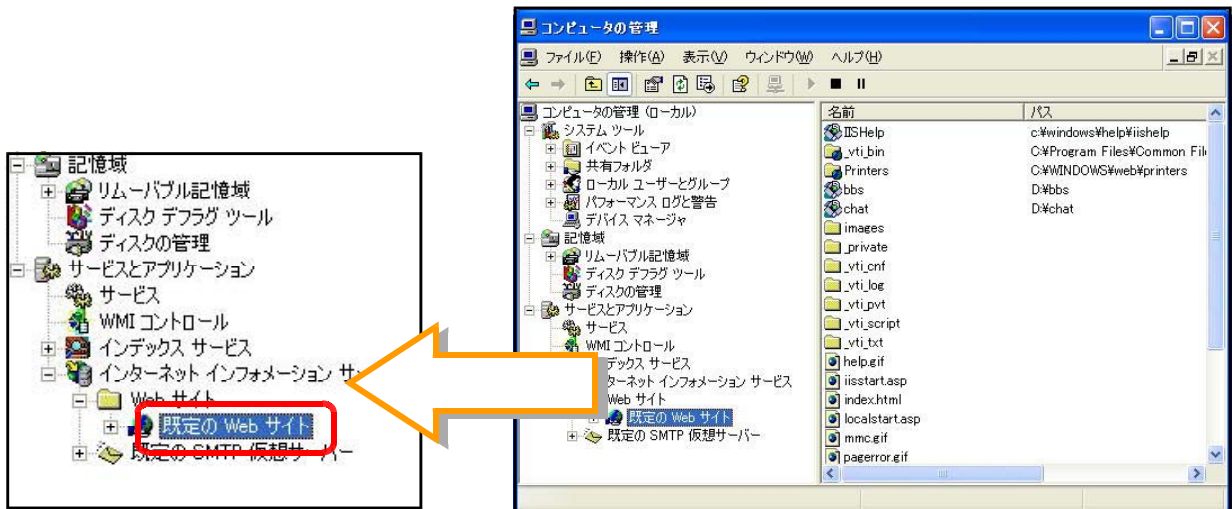
自分のコンピュータがWebサーバとして機能しました。さまざまな機能の追加や設定変更する場所を確認しておきましょう

### (1) IIS の起動と停止

(a) WindowsXP のデスクトップ画面から [スタート] → [マイコンピュータ] で右クリックをします。ポップアップメニューから [管理] をクリックします。



(b) 左側の [サービスアプリケーション] 内の「インターネット インフォメーション サービス」をクリックして、『既定のWebサイト』を選択します。

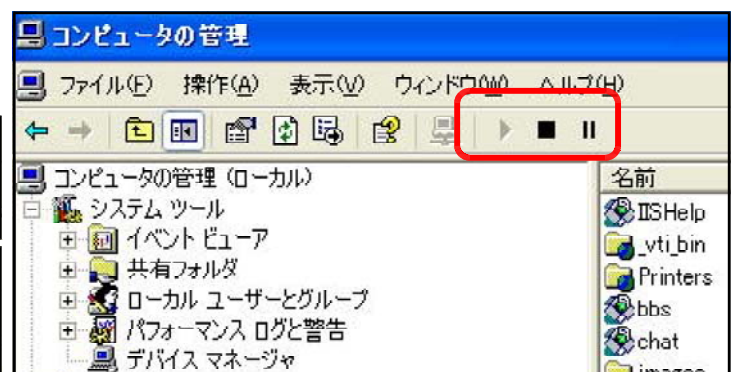


(c) ツールバーの ■ アイコンをクリックすると、IIS は停止します。

【開始状態】



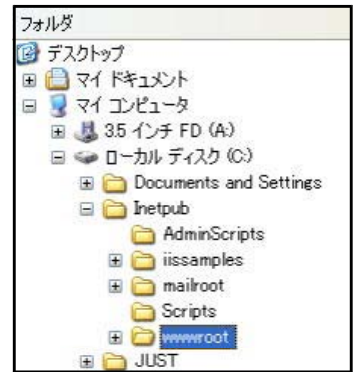
【停止状態】



(2) ホームディレクトリの変更

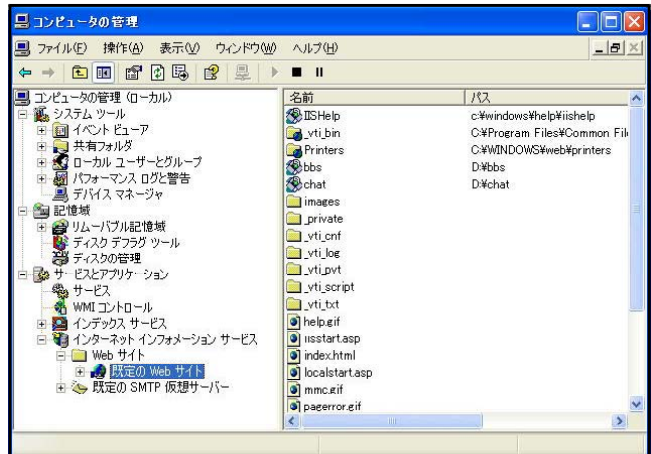
Webサーバ内のどこをWeb公開するかを設定します。デフォルトでは、Cドライブ内の「Iinetpub」→「wwwroot」フォルダ以下がWeb公開される設定（ホームディレクトリ）となっています。

ここでは、『d:\web』以下を公開する設定にします。

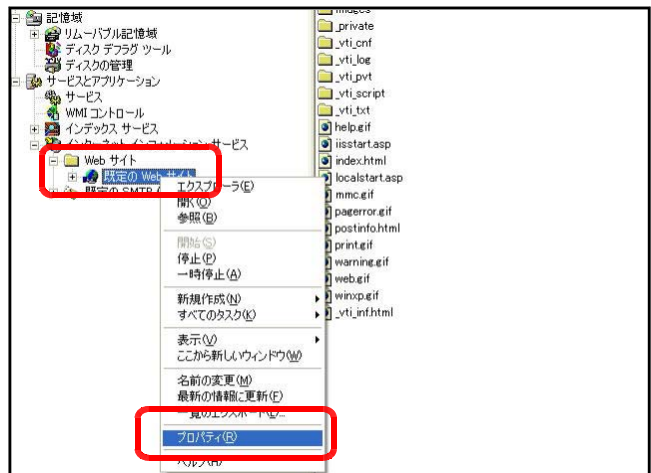


(a) 「コンピュータの管理」ダイアログを表示させます。

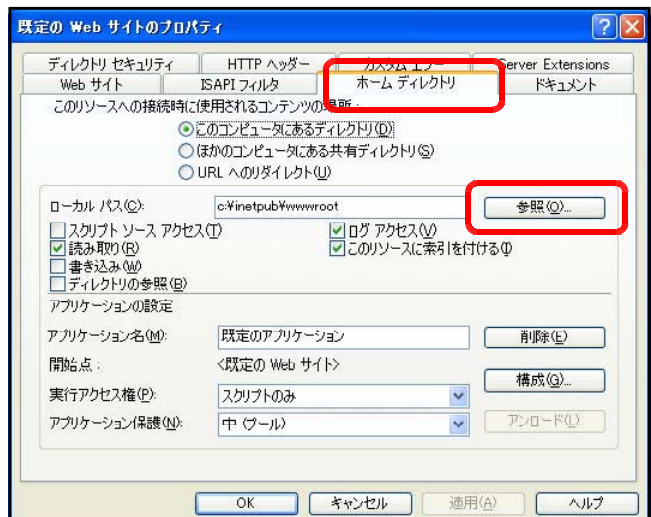
(b) 画面左側の「サービスアプリケーション」内の「インターネット インフォメーション サービス」をクリックして、『既定のWebサイト』を選択します。



(c) 『既定のWebサイト』上で右クリックから、「プロパティ」をクリックします。



(d) 「既定のWebサイトのプロパティ」ダイアログが表示されますので、「ホームディレクトリ」タブをクリックします。



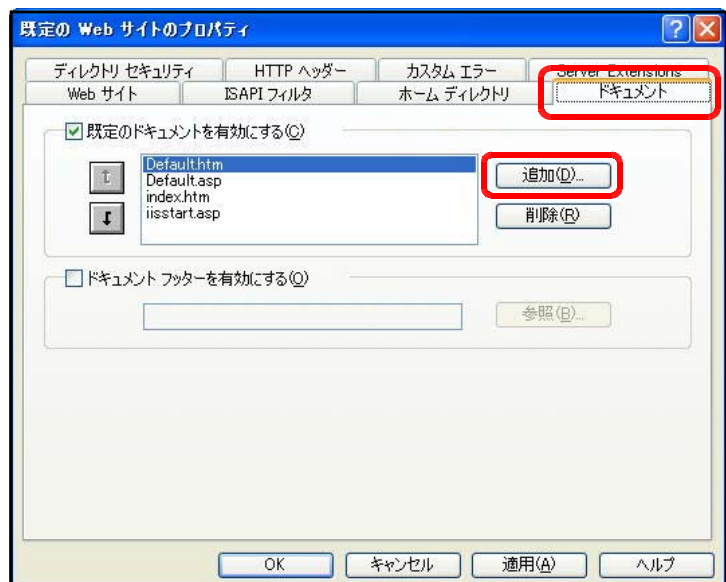
- (e) 「参照」ボタンをクリックします。「新しいフォルダの作成」ボタンをクリックして、『Web』と入力して、[OK]ボタンをクリックします。



### (3) 既定のドキュメントの設定

- (a) 「既定のサイトのプロパティ」ダイアログ内の「ドキュメント」タブをクリックします。

- (b) [追加] ボタンをクリックして、『index.html』と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



- (c) 追加された「index.html」を選択して、↑ボタンをクリックし、順位を最上位にします。良ければ、[OK]ボタンをクリックして終了です。



## 5 CGIとは？

CGIは正確には『Common Gateway Interface』といい、技術的には「Webサーバが外部プログラムを呼び出すための仕様」ということになります。通常はWebページを作成して公開すると、次のページの更新をするまでは、公開されたページの内容は変わりません。ページを表示させる度に内容を変化させたり、ユーザーの要望に即したページを表示させるためには、プログラムを導入しなければなりません。

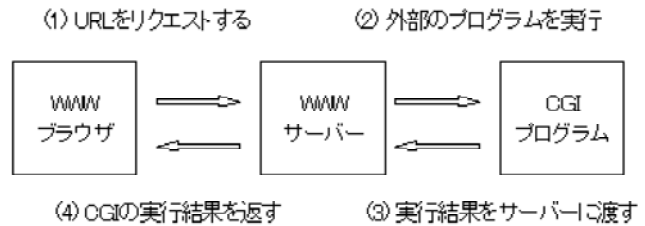
通常のHTMLの場合と比較して、CGIプログラムの動作は、『ユーザーがCGIプログラムのURLをリクエストすると、WebサーバがCGIを通してそのプログラムを実行し、その実行結果をユーザーに返す』という手順が行われます。

HTMLファイルは『.html』、画像ファイルは『.gif』や『.jpg』と決まっているように、CGIプログラムにも特定の拡張子をつける必要があります。

CGI機能を使うと、

- フォームからの入力を受け取る（アンケート）
- サーバ上にあるファイルを読み込む（掲示板）
- サーバ上のファイルにデータを保存する（アクセスカウンター）
- プログラムで生成した文字などのデータを出力する（チャット）

等のことができます。このようなCGI機能を果たすプログラムにはさまざまなものがありますが、『Perl』、『C』、『Java』などが有名ですが、本研修講座では、『VBScript』を用いてプログラムを作成してみます。



## 6 ASPとは？

ASPは、マイクロソフト社が提供するWebサーバ、IIS (Internet Information Service) やPWS (Personal Web Server) 上で動作する「サーバサイドの処理環境」のことです。さらにASPは、JavaやVisual Basicのような固有の言語を指すものではなく、『.asp』ファイルに埋め込まれたスクリプト言語 (VBScript や JavaScript のような) をサーバサイドで解釈し、外部のプログラム (COM) やデータベースと連携を取りながら、最終的な実行結果のみ (一般的には HTML) をクライアント側に返す一連の処理環境技術ということになります。



## 第2章 データベースアプリケーションの作成

### 1 ASPページの基本的な作成

#### (1) ASPページとは？

ASP ページの動作や作成に関しては、以下の点に注意しなければなりません。

##### ■動作環境

- ・ Webサーバソフトは、IIS(Internet Information Service)でなければならない。

##### ■ページ作成

- ・ ファイルの拡張子は『.asp』でなければならない。
- ・ <%~%>で囲まれた範囲が解析され、結果が出力される。
- ・ 通常の HTML タグを記述することができる。
- ・ ASP に記述できるスクリプト言語は、『VBScript』以外も利用できる。

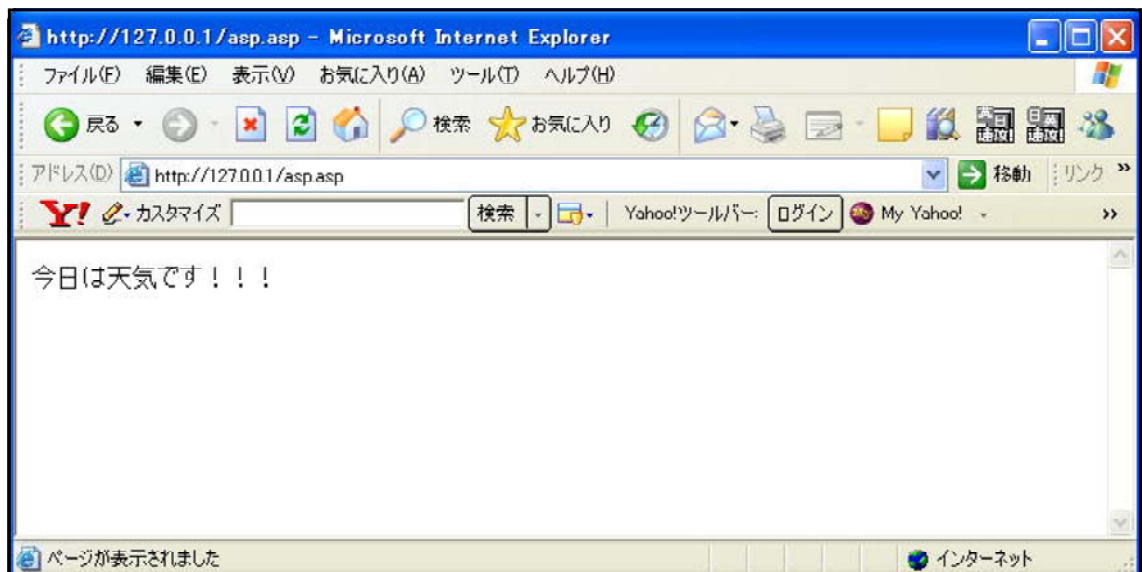
【ASPファイルのソース】

```
asp.asp - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
<head>
</head>
<body>
<%
Response.Write "今日は天気です!!!"
%>
</body>
</html>
1行, 1列
```

【HTMLファイルのソース】

```
html.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
<head>
</head>
<body>
今日は天気です!!!
</body>
</html>
1行, 1列
```

【ブラウザでの表示】



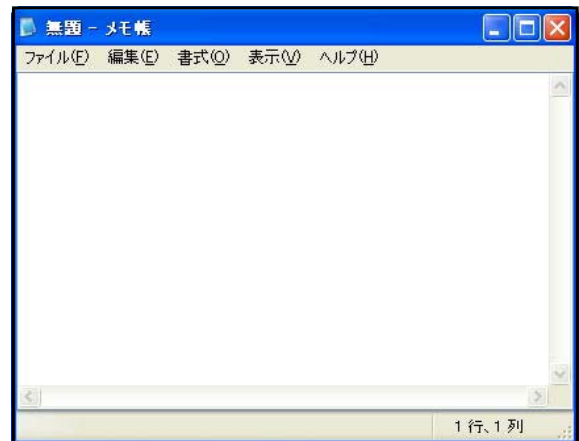
(注) HTML ファイルはダブルクリックすることでブラウザで直接表示させることができますが、ASP ファイルはWebサーバ上に置いた状態の http 経由で表示させなければ閲覧することはできません。



## (2) 文字列の表示

それでは、ASP ページに文字列を表示させてみましょう。

- (a) [スタート]—[すべてのプログラム]—[アクセサリ]—[メモ帳]を開きます。



- (b) 白紙のページを表示するための HTML タグを以下のように入力します。

```
<html>
<head>
</head>
<body>
</body>
</html>
```

(注) 入力は「半角英数」で行います。

- (c) ファイル名を『sample01.asp』として、D:¥web フォルダに保存します。

ファイル名 : sample01.asp      保存先 : D:¥web

- (d) 文字列を表示させるためのスクリプトを以下のように加えます。

```
<html>
<head>
</head>
<body>
<%
Response.Write "私は、銀河太郎です。"
%>
</body>
</html>
```

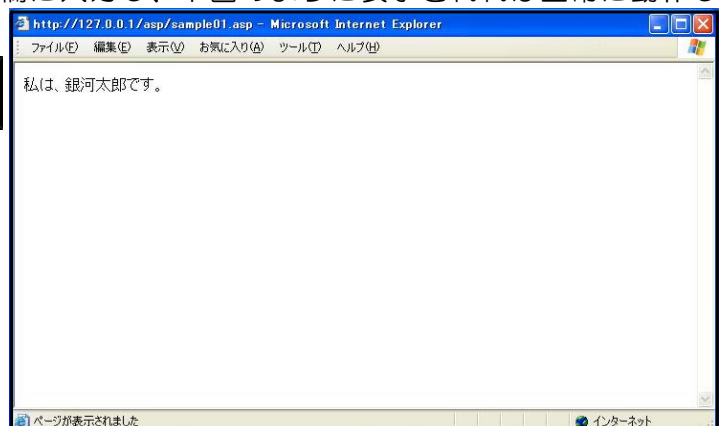
■ブラウザに文字列を返します。  
Response.Write ▲  
(※) 「=」でも代替できます

(注) 入力は「半角英数」で行います。

- (e) 上書き保存をします。

- (f) 以下のURLをブラウザのアドレス欄に入力し、下図のように表示されれば正常に動作しています。

http://127.0.0.1/sample01.asp



### (3) 関数の利用

次に、現在の月日・時刻を取得して表示をしてみましょう。

- (a) メモ帳を開き、次の HTML タグを以下のように入力します。

```
<html>
<head>
</head>
<body>
</body>
```

- (b) ファイル名を『sample02.asp』として、D:¥webフォルダに保存します。

```
ファイル名   :   sample02.asp       保存先   :   D:¥web
```

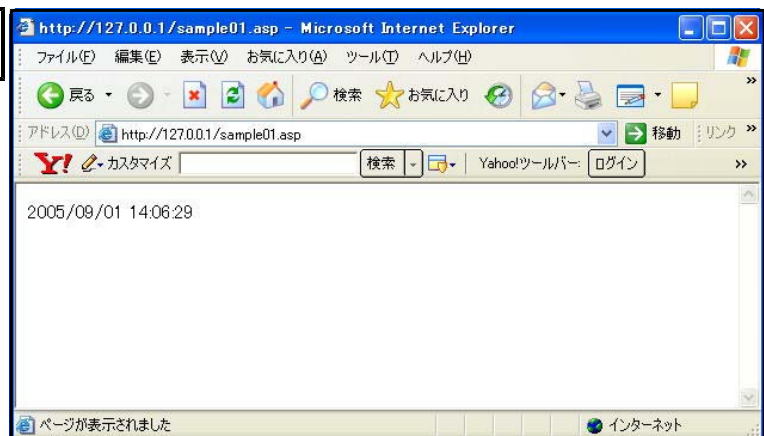
- (c) 月日を取得して表示させるためのスクリプトを以下のように加えます。

```
<html>
<head>
</head>
<body>
<%
Response.Write now
%>
</body>
</html>
```

- (d) 上書き保存をします。

- (f) 以下のURLをブラウザのアドレス欄に入力し、下図のように表示されれば正常に動作しています。

```
http://127.0.0.1/sample02.asp
```



#### 【演習課題】

『今の時刻は、2005/09/01 12:00:00 です。』とページに表示するような ASP ファイルを作成してみましょう。

【ヒント】 文字列等の結合には、「&」を用います。

#### (4) 配列データの利用

プログラムの中でデータをまとめて管理したい場合には、配列を使って管理すると便利です。ここでは Dim ステートメントを利用してみましょう。

(a) メモ帳を開いて、次の HTML タグを入力します。

```
<html>
<head>
</head>
<body>
</body>
</html>
```

(b) ファイル名を『sample03.asp』として、D:¥web フォルダに保存します。

ファイル名 : sample03.asp      保存先 : D:¥web

(c) 配列データの利用に関するスクリプトを以下のように加えます。

```
<html>
<head>
</head>
<body>
<%
Dim A (5)
A (0) = "青森県"
A (1) = "秋田県"
A (2) = "岩手県"
A (3) = "宮城県"
A (4) = "山形県"
A (5) = "福島県"
Response.Write A (0) & "<br>"
Response.Write A (1) & "<br>"
Response.Write A (2) & "<br>"
Response.Write A (3) & "<br>"
Response.Write A (4) & "<br>"
Response.Write A (5) & "<br>"
%>
</body>
</html>
```

■ 変数（配列データ）を宣言します。  
Dim ▲  
(※) 配列データを宣言する場合は、最大60次元まで。

(d) 上書き保存をします。

(e) 以下のURLをブラウザのアドレス欄に入力し、右図のように表示されれば正常に動作しています。



(5) 繰り返し処理

処理の繰り返しは、プログラムの効率化を図る意味でも重要なポイントです。ここでは、「For ~ Next」を利用してみます。

(a) メモ帳を開いて、以下の HTML タグを入力します。

```
<html>
<head>
</head>
<body>
</body>
</html>
```

(b) ファイル名を『sample04.asp』として、D:¥web フォルダに保存します。

```
ファイル名 : sample04.asp   保存先 : D:¥web
```

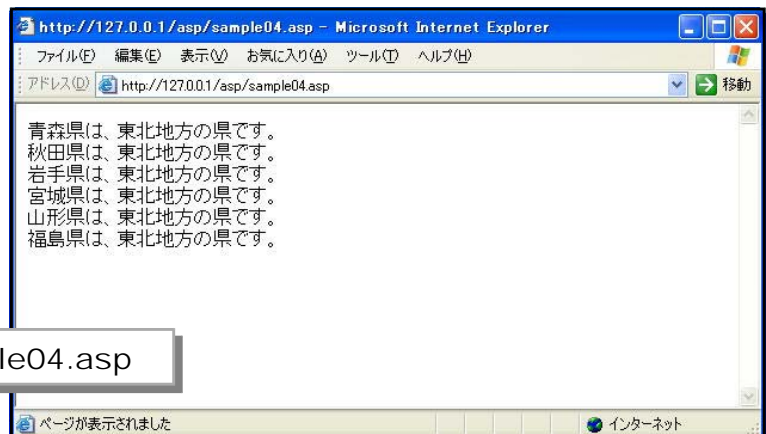
(c) 繰り返し処理に関するスクリプトを以下のように加えます。

```
<html>
<head>
</head>
<body>
<%
Dim A (5)
A (0) = "青森県"
A (1) = "岩手県"
A (2) = "秋田県"
A (3) = "宮城県"
A (4) = "山形県"
A (5) = "福島県"
For i = 0 to 5
    Response.Write A (i) & "は東北地方に属します。<br>"
Next
%>
</body>
</html>
```

■ 指定回数だけ処理を繰り返す  
For ~ Next  
(※) 下記の場合、0から5まで6回ループします。

(d) 上書き保存します。

(e) 以下のURLをブラウザ欄に入力し、下図のように表示されれば正常に動作しています。



## 2 外部ファイルの読み込み

### (1) アクセスカウンターの作成

ページを訪れた人が何人いるかを測るものとして『アクセスカウンター』がよく使われます。仕組みは、テキストファイルにページが呼び出される度に数値をカウントアップして保存していくというものです。

(a) メモ帳を開いて、「sample05.asp」を開きます。

(b) アクセスカウンターを表示させるためのスクリプトを以下のように加えます。

```
<html>
<head>
</head>
<body>
<%
Set ObjFSO = Server.CreateObject("Scripting.FileSystemObject")
filename = Server.MapPath("count.dat")
Set ObjTS = ObjFSO.OpenTextFile(filename,1,True)
If ObjTS.AtEndOfStream Then
    cnt = 0
Else
    cnt = ObjTS.ReadLine
End If
ObjTS.Close
cnt = cnt + 1
Set ObjTS = ObjFSO.OpenTextFile(filename,2,True)
ObjTS.WriteLine cnt
ObjTS.Close
Response.Write "現在までのアクセス数：" & cnt
Set ObjTS = Nothing
Set ObjFSO = Nothing
%>
</body>
</html>
```

■ 外部ファイルの指定します。

■ カウンターを1つずつ増加します。

■ カウンター値を表示させる。

(c) 上書き保存します。

(d) 以下のURLをブラウザ欄に入力し、下図のように表示されれば正常に動作しています。また、ページの更新をする度にカウンターがアップしていることを確認してください。



<memo>

-----

-----

-----

-----



### 3 データベースへの接続

#### (1) テキストファイルの表示 (ODBC接続)

テキスト形式のファイルに蓄積されているデータをページに表示させてみましょう。

- (a) テキスト形式のデータファイルは、以下のような項目が入力されています。

「都道府県名」、「人口」、「全国順位」の順に入力されています。

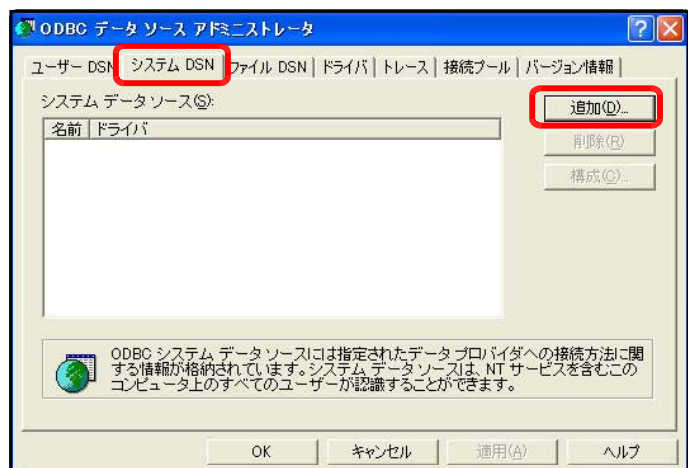


- (b) テキスト形式のデータファイルをデータベースファイルとして定義します。

[スタート]—[コントロールパネル]—[管理ツール]—[データソース(ODBC)]をクリックし、「ODBCデータソースアドミニストレータ」を表示させます。



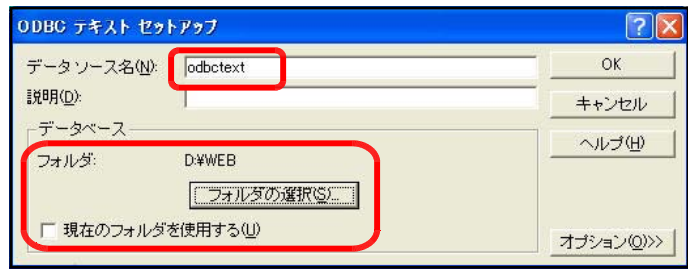
- (c) 「システムDSN」タブをクリックします。



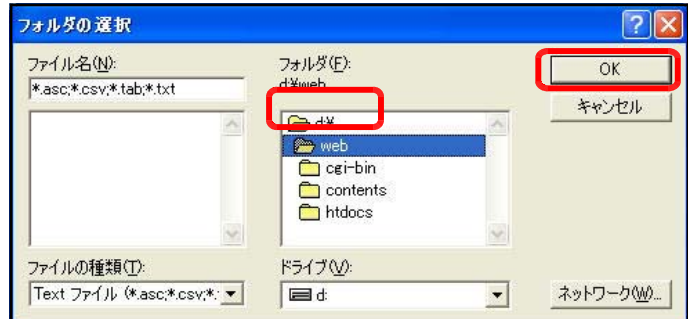
- (d) [追加]ボタンをクリックして、『Microsoft Text Driver (\*.txt;\*.csv)』を選択して、[完了]ボタンをクリックします。



(e) [データソース名]に『odbctext』  
(任意)と入力します。



(f) [現在のフォルダを使用する]のチェックを外します。[フォルダの選択]ボタンをクリックして、D:\web フォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



(g) メモ帳を開いて、「sample06.asp」ファイルを開きます。

(h) テキスト形式データを表示させるためのスクリプトを以下のように加えます。

```

<%
Set ObjConn = Server.CreateObject ("ADODB.Connection")
ObjConn.open "odbctext"
StrSQL = "select * from [data.txt]"
Set ObjRS = Server.CreateObject ("ADODB.Recordset")
ObjRS.Open StrSQL, ObjConn
%>
<html>
<head>
</head>
<body>
<h3>都道府県別人口</h3>
<table border="1">
<tr><td>都道府県</td><td>人口</td><td>全国順位</td></td>
</tr>
<% For i = 0 to ObjRS.Fields.Count -1 %>
<td><% = ObjRS.Fields (i) .name %></td>
<% Next %>
</tr>
<% Do until ObjRS.eof %>
<tr>
<b><% For i = 0 to ObjRS.Fields.Count - 1 %>
<td><% = ObjRS.Fields (i) %></td>
<% Next %>
</tr>
<%
ObjRS.MoveNext
Loop
%>
</table>
</body>
</html>
<%

```

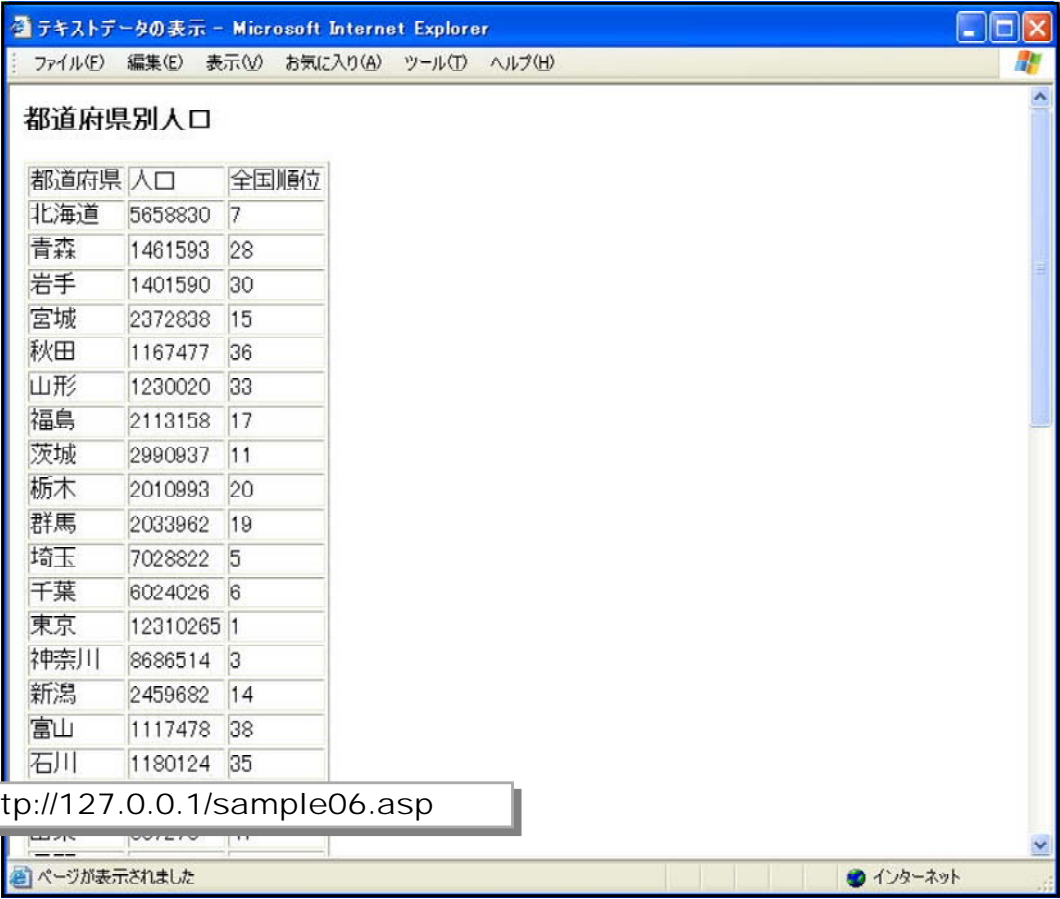
■ SQL 文の作成  
(※) data.txt ファイルから、全ての項目(フィールド)を抽出します。

■ データベースのレコードを表示します。  
(※) レコード数分表示させます。

```
ObjRS.Close
Set ObjRS = Nothing
ObjConn.Close
Set ObjConn = Nothing
%>
```

(i) 上書き保存します。

(j) 以下のURLをブラウザのアドレス欄に入力し、下図のように表示されれば正常に動作しています。



http://127.0.0.1/sample06.asp

<memo>

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

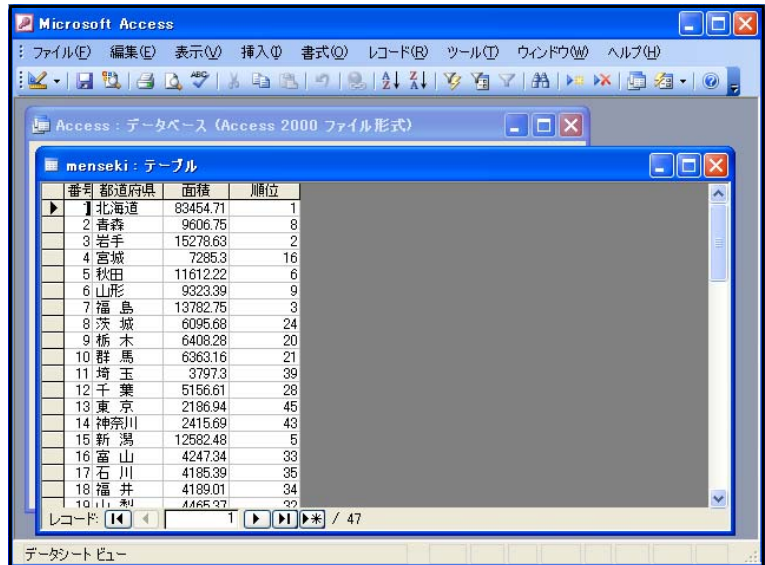
-----

(2) Accessデータファイルの表示 (DSN-LESS接続)

Access のデータベースファイルに蓄積されているデータをページに表示させてみましょう。

(a) Access のデータベースファイルの構造は、以下のようにデータが入力されています。

ファイル名 : Access.mdb  
 テーブル名 : menseki



項目名	データ型	サイズ	内容
番号	オートナンバー	—	ID番号
都道府県	テキスト型	20	都道府県名
面積	数値型	倍精度浮動数値型	面積 (km <sup>2</sup> )
全国順位	数値型	整数型	全国順位

(b) メモ帳を開いて、「sample07.asp」を開きます。

(c) Access 形式のデータを表示させるためのスクリプトを以下のように加えます。

```

<%
Set ObjConn = Server.CreateObject ("ADODB.Connection")
ObjConn.open "Driver={Microsoft Access Driver (*.mdb)}; DBQ=" & _
Server.MapPath ("Access.mdb")
Set ObjRS = Server.CreateObject ("ADODB.Recordset")
StrSQL = "select * from menseki"
ObjRS.Open StrSQL, ObjConn
%>
<html>
<head>
</head>
<body>
<h3>Access データの表示</h3>
<table border="1">
<tr>
<% For i = 0 to ObjRS.Fields.Count - 1 %>
<td><% = ObjRS.Fields (i) .name %></td>
<% Next %>
</tr>
<% Do until ObjRS.eof %>
    
```

■ データベースに接続する。

■ SQL 文の作成  
 (※) menseki テーブルから全ての項目(レコード)を抽出する。

```

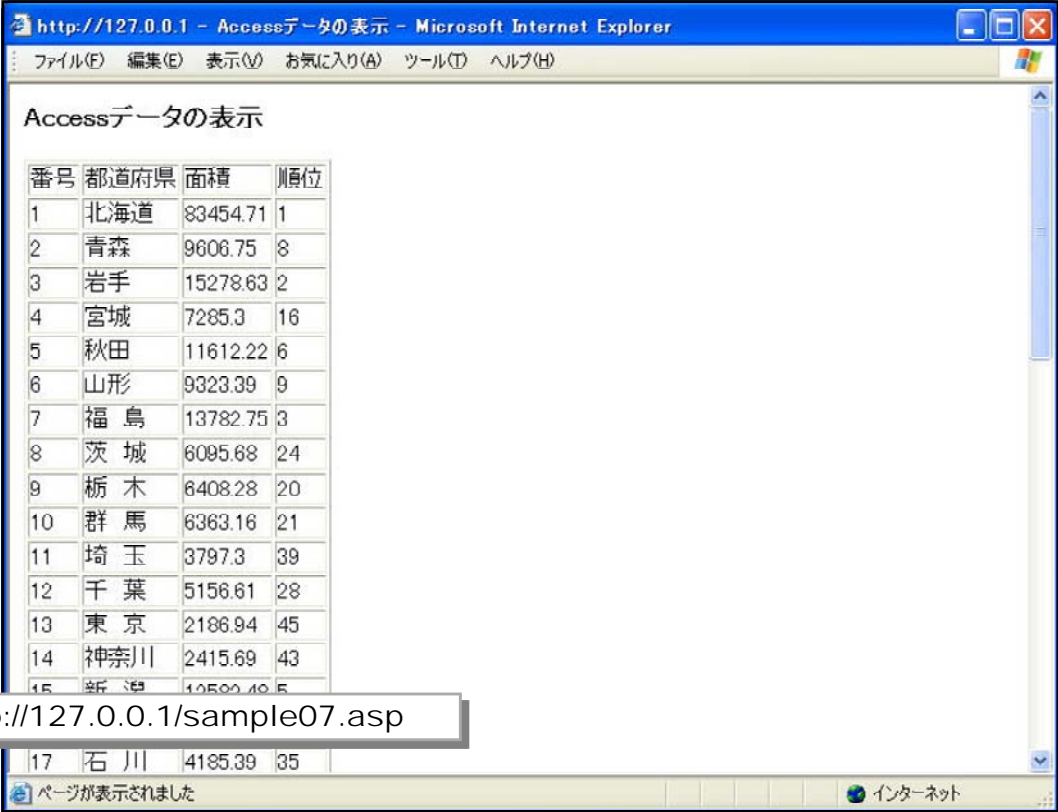
<tr>
<% For i = 0 to ObjRS.Fields.Count - 1 %>
<td><% = ObjRS.Fields(i) %></td>
<% Next %>
</tr>
<%
ObjRS.MoveNext
Loop
%>
</table>
</body>
</html>
<%
ObjRS.Close
Set ObjRS = Nothing
ObjConn.Close
Set ObjConn = Nothing
%>

```

■全てのレコードを表示させる。

(d) 上書き保存をします。

(e) 以下のURLをブラウザのアドレス欄に入力し、下図のように表示されれば正常に動作しています。



<memo>

-----

-----

-----



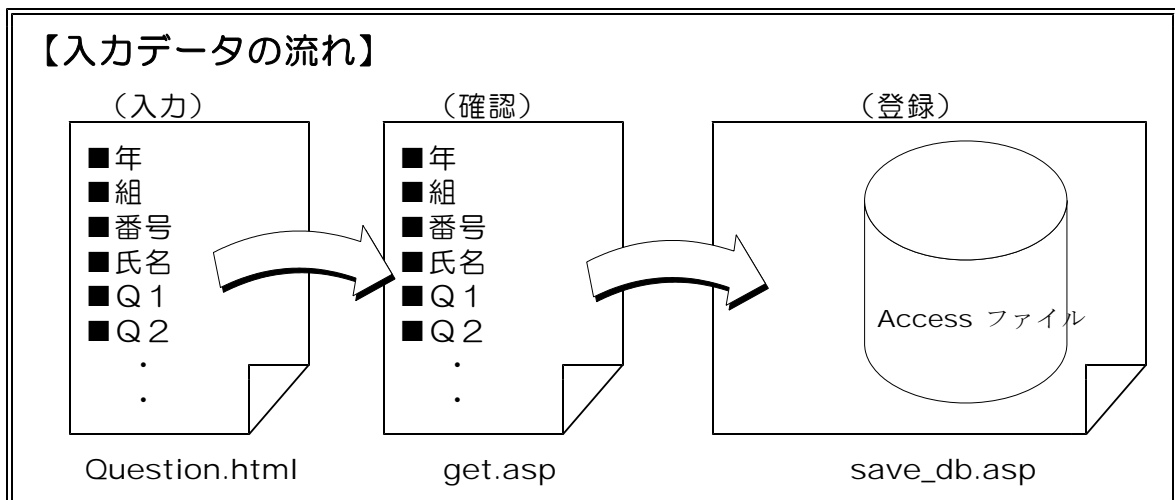
### (3) アンケート回答ページの作成

アンケートを入力するフォームを作成し、Access データベースファイルに蓄積してみましょう。作成画面とデータの流れは以下の通りです。

The screenshot illustrates the user interface flow for the survey application. It consists of three main browser windows:

- 入力フォーム (question.html):** A form titled "授業アンケート" (Class Survey) with dropdown menus for "学年" (Year) and "組" (Group), and input fields for "番号" (Number) and "氏名" (Name). Below are five questions (Q1-Q5) with radio button options for "はい" (Yes) and "いいえ" (No). A "確認" (Confirm) button is at the bottom.
- 入力確認 (get.asp):** A confirmation page titled "アンケート回答 確認画面" (Survey Answer Confirmation Screen) showing the submitted data in a form: 学年: 1, 組: A, 番: 10, 氏名: mita masami, Q1-Q4: 2, Q5: テストです。 (It's a test).
- 登録確認 (save\_db.asp):** A confirmation page titled "アンケート回答 登録確認" (Survey Answer Registration Confirmation) with the message "データベースへの登録が終了しました。" (Registration to the database is complete.) and a "メニューへ戻る" (Return to menu) link.
- 一覧表示 (disp.asp):** A list view page titled "アンケート回答 一覧表示" (Survey Answer List View) displaying a table of all responses.

No	学年	クラス	番号	氏名	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
19	2	D	3	山 形子	1	1	2	2	今日は毎週の作業であったが、みんな協力してできたと思う。
13	1	A	54	北海 道子	1	1	1	1	今日の授業は、とても分かりやすかったです。
14	1	B	23	香 森光	1	2	2	2	宿題を忘れてしまいました。
15	3	G	45	秋田 康二	1	1	1	1	今日の授業のインターネット検索は面白かったです。
16	1	A	2	岩手 盛夫	1	2	1	2	プレゼン資料が意外と簡単にできました。
17	3	A	50	秋 田 健雄	1	1	1	1	明日のテストで良い点数が取れるように頑張りたい。
18	3	G	30	宮 城子	1	2	1	2	ネットワークの仕組みがよく分かった。



## ■入力フォームの作成 (Question.html)

入力フォームは、回答してもらいたい項目をテキストボックスやコンボボックス等を用いて作成します。実際の作成にあたっては、ホームページ・ビルダー等のソフトを用いて、Webページ作成と同様に行うことができます。

- メモ帳を起動して、「Question.html」を開きます。
- 入力受付するためのタグを以下のように加えます。

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>アンケート</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<CENTER>
<FORM method="POST" action="get.asp">
<TABLE class="tbl_styl" cellspacing="0">
  <TBODY>
    <TR>
      <TD class="bgstyl" colspan="4">
        <DIV class="title_logo">授業アンケート</DIV></TD>
    </TR>
    <TR>
      <TD colspan="4" height="15"></TD>
    </TR>
    <TR>
      <TD height="12" class="cell_styl"></TD>
      <TD height="12" class="cell_styl"></TD>
      <TD class="sec" valign="middle" height="12" bgcolor="#dcfb04" align="right">学年</TD>
      <TD valign="middle" width="207" height="12" class="cell_styl">
        <SELECT name="gakunen">
          <OPTION value="1" selected>1年</OPTION>
          <OPTION value="2">2年</OPTION>
          <OPTION value="3">3年</OPTION>
        </SELECT>
      </TD>
    </TR>
    <TR>
      <TD class="cell_styl"></TD><TD class="cell_styl"></TD>
      <TD class="sec" bgcolor="#dcfb04" align="right">組</TD>
      <TD class="cell_styl" width="207">
        <SELECT name="class_name">
          <OPTION value="A" selected>A組</OPTION>
          <OPTION value="B">B組</OPTION>
          <OPTION value="C">C組</OPTION>
          <OPTION value="D">D組</OPTION>
          <OPTION value="E">E組</OPTION>
          <OPTION value="F">F組</OPTION>
          <OPTION value="G">G組</OPTION>
        </SELECT>
      </TD>
    </TR>
    <TR>
      <TD class="cell_styl"></TD><TD class="cell_styl"></TD>
      <TD class="sec" bgcolor="#dcfb04" align="right">番号</TD>
```

■入力データの引き渡し方法を指定  
(※) POST形式で、get.aspへ引き渡します。

■オプションボタンを作成します。  
(※) 選択肢は、「1年」、「2年」、「3年」とし、gakunenという変数名にします。

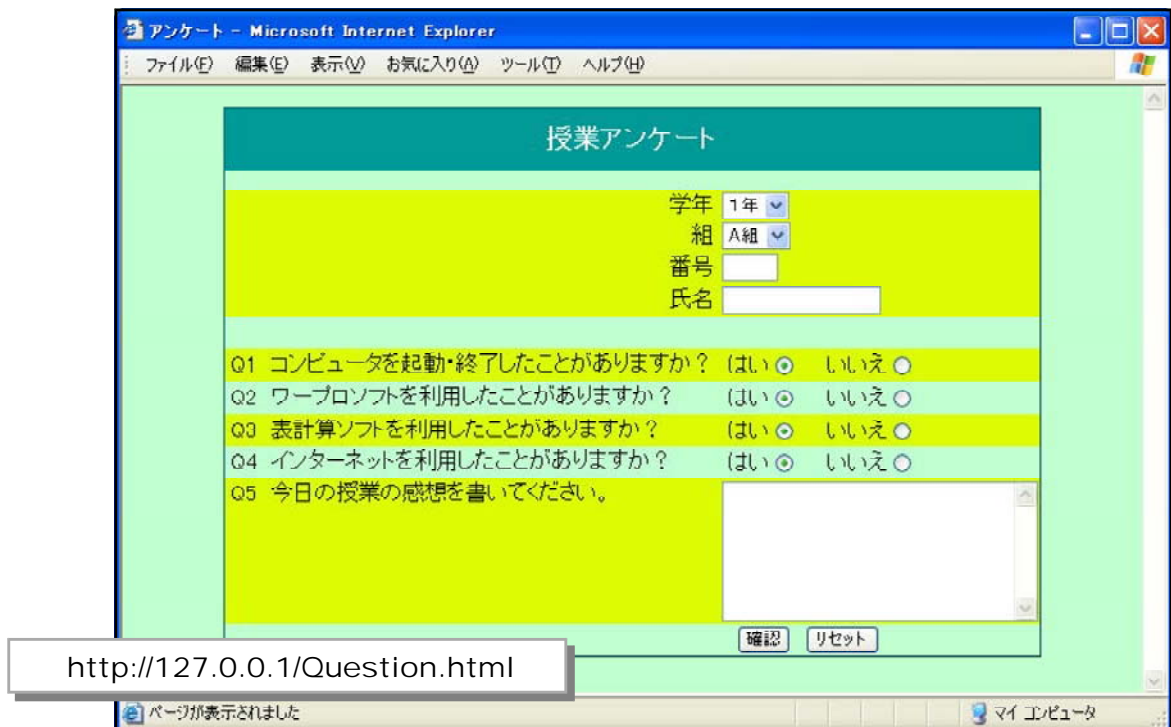
```

    <TD class="cell_styl" width="207"><INPUT size="5" type="text" name="number"></TD>
</TR>
<TR>
    <TD class="cell_styl"></TD><TD class="cell_styl"></TD>
    <TD class="sec" bgcolor="#dcbf04" align="right">氏名</TD>
    <TD class="cell_styl" width="207"><INPUT size="20" type="text" name="name1"></TD>
</TR>
<TR>
    <TD colspan="4" height="23"></TD>
</TR>
<TR>
    <TD class="sec" bgcolor="#dcbf04" height="9">Q1</TD>
    <TD class="sec" colspan="2" bgcolor="#dcbf04" height="9">コンピュータを起動・終了したことがありますか？</TD>
    <TD class="sec" width="207" bgcolor="#dcbf04" height="9">はい<INPUT type="radio" name="Q1" value="1" checked>
    いいえ<INPUT type="radio" name="Q1" value="2"></TD>
</TR>
<TR>
    <TD class="sec">Q2</TD>
    <TD class="sec" colspan="2">ワープロソフトを利用したことがありますか？</TD>
    <TD class="sec" width="207">はい<INPUT type="radio" name="Q2" value="1" checked>    いいえ<INPUT type="radio"
name="Q2" value="2"></TD>
</TR>
<TR>
    <TD class="sec" bgcolor="#dcbf04">Q3</TD>
    <TD class="sec" colspan="2" bgcolor="#dcbf04">表計算ソフトを利用したことがありますか？</TD>
    <TD class="sec" width="207" bgcolor="#dcbf04">はい<INPUT type="radio" name="Q3" value="1" checked>    いいえ
<INPUT type="radio" name="Q3" value="2"></TD>
</TR>
<TR>
    <TD class="sec" >Q4</TD>
    <TD class="sec" colspan="2">インターネットを利用したことがありますか？</TD>
    <TD class="sec" width="207">はい<INPUT type="radio" name="Q4" value="1" checked>    いいえ<INPUT type="radio"
name="Q4" value="2"></TD>
</TR>
<TR>
    <TD class="sec" height="70" bgcolor="#dcbf04" valign="top">Q5</TD>
    <TD class="sec" colspan="2" height="70" bgcolor="#dcbf04" valign="top">今日の授業の感想を書いてください。</TD>
    <TD height="70" width="207" bgcolor="#dcbf04"><TEXTAREA rows="7" cols="30" name="Q5"></TEXTAREA></TD>
</TR>
<TR>
    <TD></TD>
    <TD></TD>
    <TD></TD>
    <TD width="207"> <INPUT type="submit" value="確認"> <INPUT type="reset" name="reset" value="リセット"></TD>
</TR>
</TBODY>
</TABLE>
</FORM>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>

```

(c) 上書き保存します。

- (d) 以下のURLをブラウザのアドレス欄に入力し、下図のように表示されれば正常に動作しています。



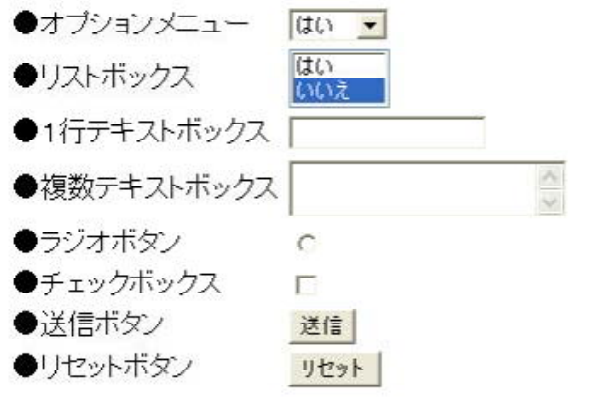
## 【入力フォーム作成のポイント】

### ■ <form>～</form>タグを用いる

入力部品（テキストボックスやコンボボックス等）を用いるときは、<form>タグと</form>タグを用います。このタグ内の情報が送信されます。

### ■ 入力部品を用いる

入力部品には、右図のような種類があります。なお、作成にあたっては、ホームページ・ビルダー等のWebページ作成ソフトを用いて作成すると、入力部品のタグを意識しないで作成できます。



### ■ method と action の設定

<form>タグ内にフォームで取得した値の引き渡し種類と宛先を設定します。

(例) <form method="POST" action="get.asp">

(※) POST形式で、get.aspに値を引き渡します。

(注) POST形式は、値を引き渡す際にどのような値を引き渡しているか、表示されないのである。

## ■ 確認画面の作成 (get.asp)

入力フォームから引き渡されたデータを表示する確認画面を作成します。

- メモ帳を起動して、「get.asp」を開きます。
- 以下のスクリプトを追加します。

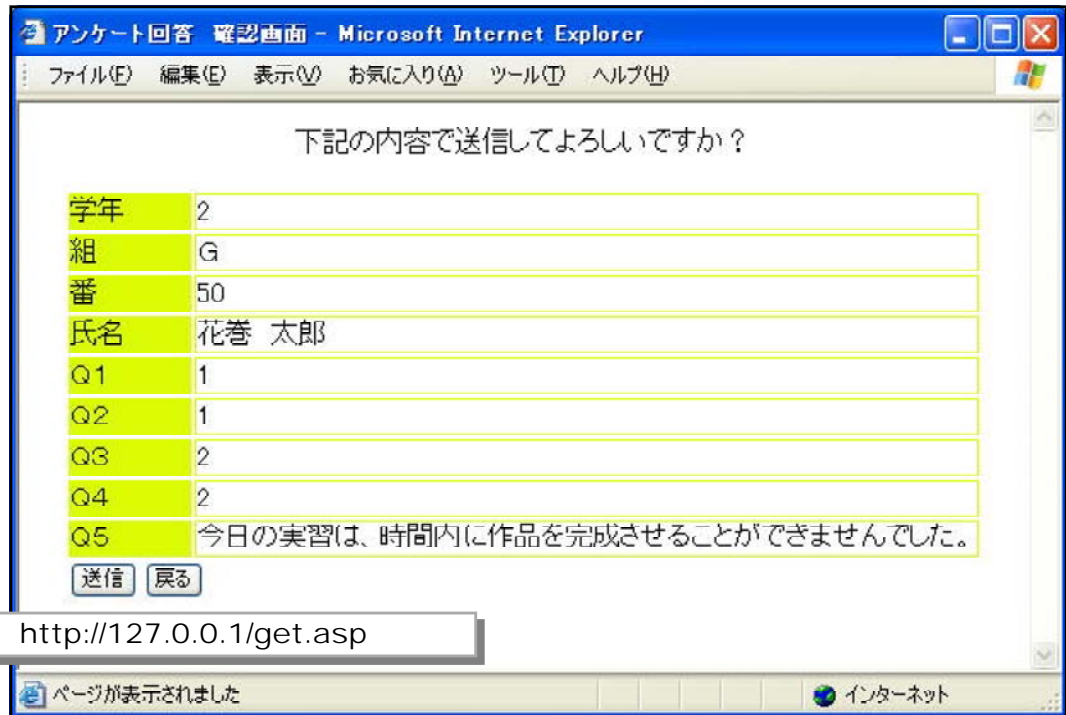
```
<html>
<head>
<title>アンケート回答 確認画面</title>
</head>
<body>
<%
StrGakunen = Request.Form ("gakunen")
StrClass = Request.Form ("class_name")
StrName = Request.Form ("name1")
StrNumber = Request.Form ("number")
StrQ1 = Request.Form ("q1")
StrQ2 = Request.Form ("q2")
StrQ3 = Request.Form ("q3")
StrQ4 = Request.Form ("q4")
StrQ5 = Request.Form ("q5")
Session ("StrGakunen") = StrGakunen
Session ("StrClass") = StrClass
Session ("StrNumber") = StrNumber
Session ("StrName") = StrName
Session ("StrQ1") = StrQ1
Session ("StrQ2") = StrQ2
Session ("StrQ3") = StrQ3
Session ("StrQ4") = StrQ4
Session ("StrQ5") = StrQ5
%>
<center>
下記の内容で送信してよろしいですか？
<br><br>
<table border="0">
<tr><td class="deco">学年</td><td class="deco1"><%=StrGakunen %></td></tr>
<tr><td class="deco">組</td><td class="deco1"><%=StrClass %></td></tr>
<tr><td class="deco">番</td><td class="deco1"><%=StrNumber %></td></tr>
<tr><td class="deco">氏名</td><td class="deco1"><%=StrName %></td></tr>
<tr><td class="deco">Q 1</td><td class="deco1"><%=StrQ1 %></td></tr>
<tr><td class="deco">Q 2</td><td class="deco1"><%=StrQ2 %></td></tr>
<tr><td class="deco">Q 3</td><td class="deco1"><%=StrQ3 %></td></tr>
<tr><td class="deco">Q 4</td><td class="deco1"><%=StrQ4 %></td></tr>
<tr><td class="deco">Q 5</td><td class="deco1"><%=StrQ5 %></td></tr>
<TR>
<TD colspan="2">
<FORM method="post" action="save_db.asp">
<INPUT type="submit" value="送信">
<INPUT type="button" value="戻る" onClick="location.href='question.html'"></FORM>
</TD>
</TR>
</table>
</center>
</body></html>
```

■ Question.html から引き渡されたデータを表示します。

■ save\_db.asp へデータを引き渡します。



- (c) 上書き保存をします。  
 (d) Question.html から入力して、下記の表示がされれば正常に動作しています。



## ■登録完了画面の作成 (save\_db.asp)

入力確認画面から引き渡されたデータをデータベースに実際に登録します。

- (a) メモ帳を起動して、「save\_db.asp」を開きます。  
 (b) 以下のスクリプトを追加します。

```
<%
StrGakunen = Session ("StrGakunen")
StrClass    = Session ("StrClass")
StrName     = Session ("StrName")
StrNumber  = Session ("StrNumber")
StrQ1      = Session ("StrQ1")
StrQ2      = Session ("StrQ2")
StrQ3      = Session ("StrQ3")
StrQ4      = Session ("StrQ4")
StrQ5      = Session ("StrQ5")
```

■ データベース anser.mdb へ接続します。

```
Set ObjConn = Server.CreateObject ("ADODB.Connection")
ObjConn.open = "Driver={Microsoft Access Driver (*.mdb)}; DBQ=" & Server.MapPath ("Anser.mdb")
Set ObjRS = Server.CreateObject ("ADODB.Recordset")
```

```
StrSQL = "insert into ans ("
StrSQL = StrSQL & " Ans01, "
StrSQL = StrSQL & " Ans02, "
StrSQL = StrSQL & " Ans03, "
StrSQL = StrSQL & " Ans04, "
StrSQL = StrSQL & " Ans05, "
StrSQL = StrSQL & " Ans06, "
StrSQL = StrSQL & " Ans07, "
```

```

StrSQL = StrSQL & " Ans08, "
StrSQL = StrSQL & " Ans09 "
StrSQL = StrSQL & ") values ("
StrSQL = StrSQL & "" & StrGakunen & ","
StrSQL = StrSQL & "" & StrClass & ","
StrSQL = StrSQL & "" & StrNumber & ","
StrSQL = StrSQL & "" & StrName & ","
StrSQL = StrSQL & "" & StrQ1 & ","
StrSQL = StrSQL & "" & StrQ2 & ","
StrSQL = StrSQL & "" & StrQ3 & ","
StrSQL = StrSQL & "" & StrQ4 & ","
StrSQL = StrSQL & "" & StrQ5 & ""
StrSQL = StrSQL & ") "

```

■ SQL 文を実行します。

**ObjConn.Execute (StrSQL)**

```

%>
<html>
<head>
</head>
<body>
<DIV style="text-align: center; color: #ff0000;">データベースへの登録が終了しました。</DIV>
<br>
<br>
<DIV style="text-align: center; font-size: 0.8em;"><A href="index.asp">メニューへ戻る</A></DIV>
</body>
</html>

```

(c) 上書き保存します。

(d) Question.html からアンケート入力して、下記の表示がされれば正常に動作しています。



### 【データベース・ファイルへの登録方法】

1. データベース・ファイルへの接続
2. SQL 文の作成
3. SQL 文の実行

(注) 特に SQL 文は、データの表示・検索・抽出・追加・削除・更新などのさまざまな操作を文で表現できます。基本となるテーブルに対してどのような操作を行うかによって、SQL 文の内容は変わります。

## ■ アンケート回答システムの利用方法

それでは、作成したアンケート入力システムを利用してみましょう。

- (a) 以下のURLをブラウザに入力して、入力フォームを表示させます。

アンケート - Microsoft Internet Explorer  
http://127.0.0.1/Question.html

授業アンケート

学年 1年  
組 A組  
番号 2  
氏名 花巻 次郎

Q1 コンピュータを起動・終了したことがありますか？ (はい  いいえ   
Q2 ワードプロソフトを利用したことがありますか？ (はい  いいえ   
Q3 表計算ソフトを利用したことがありますか？ (はい  いいえ   
Q4 インターネットを利用したことがありますか？ (はい  いいえ   
Q5 今日の授業の感想を書いてください。 とても分かりやすい内容の授業でした。

確認 リセット

- (b) 各項目に入力が終わったら、画面下の [送信] ボタンをクリックします。

- (c) 入力された内容が正しければ、画面下の [送信] ボタンをクリックします。

http://127.0.0.1 - アンケート回答 確認画面 - Microsoft Intern...

下記の内容で送信してよろしいですか？

学年	1
組	A
番	2
氏名	花巻 次郎
Q1	1
Q2	1
Q3	1
Q4	1
Q5	とても分かりやすい内容の授業でした。

送信 戻る

- (d) 入力されたデータが正常に登録されれば、右図のような表示がされます。これで、1件のデータ登録が完了しました。

http://127.0.0.1/asp/save\_db.asp - Microsoft Internet Exp...

データベースへの登録が終了しました。

[メニューへ戻る](#)

(e) 登録されたデータを確認してみます。d:\web フォルダ内の「anser.mdb」を開き、テーブル「ans」を表示させると以下のように、回答されたデータがテーブルとして保存されています。

ID	Ans01	Ans02	Ans03	Ans04	Ans05	Ans06	Ans07	Ans08	Ans09
14	1	A	54	北海 道子	1	1	1	1	今日の授業は、とても分かりやすかったです。
15	3	G	45	秋田 卓二	1	1	1	1	宿題を忘れてしまいました。
16	1	A	2	岩手 盛夫	1	2	1	2	今日の授業のインターネット検索は面白かったです。
17	3	A	50	秋 田 魁雄	1	1	1	1	プレゼン資料が意外と簡単にできた。
18	3	G	30	宮 城子	1	1	1	1	明日のテストで良い点数が取れるように頑張りたい。
19	2	D	3	山 形子	1	1	2	2	ネットワークの仕組みがよく分かった。
20	2	G	50	花巻 太郎	1	1	2	2	今日は班毎の作業であったが、みんな協力してできた。
21	1	A	2	花巻 次郎	1	1	1	1	今日の実習は、時間内に作品を完成させることができませんでした。
21	1	A	2	花巻 次郎	1	1	1	1	とても分かりやすい内容の授業でした。

また、以下のURLをブラウザに入力し、表示させると一覧表示できます。

http://127.0.0.1/disp.asp (作成済み)

アンケート回答 一覧表示

No	学年	クラス	番号	氏名	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
19	2	D	3	山 形子	1	1	2	2	今日は班毎の作業であったが、みんな協力してできたと思う。
20	2	G	50	花巻 太郎	1	1	2	2	今日の実習は、時間内に作品を完成させることができませんでした。
21	1	A	2	花巻 次郎	1	1	1	1	とても分かりやすい内容の授業でした。
18	1	A	54	北海 道子	1	1	1	1	今日の授業は、とても分かりやすかったです。
14	1	B	23	香 森光	1	2	2	2	宿題を忘れてしまいました。
15	3	G	45	秋田 卓二	1	1	1	1	今日の授業のインターネット検索は面白かったです。
16	1	A	2	岩手 盛夫	1	2	1	2	プレゼン資料が意外と簡単にできた。
17	3	A	50	秋 田 魁雄	1	1	1	1	明日のテストで良い点数が取れるように頑張りたい。
18	3	G	30	宮 城子	1	2	1	2	ネットワークの仕組みがよく分かった。

Webページ上の表内を範囲指定してからコピーします。Excelを起動して貼付を行うと、Excel上で集計が可能となります。

アンケート回答 一覧表示

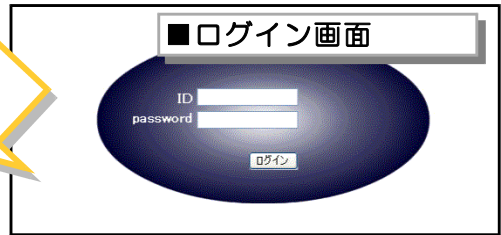
No	学年	クラス	番号	氏名	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
19	2	D	3	山 形子	1	1	2	2	今日は班毎の作業であったが、みんな協力してできたと思う。
20	2	G	50	花巻 太郎	1	1	2	2	今日の実習は、時間内に作品を完成させることができませんでした。
21	1	A	2	花巻 次郎	1	1	1	1	とても分かりやすい内容の授業でした。
18	1	A	54	北海 道子	1	1	1	1	今日の授業は、とても分かりやすかったです。
14	1	B	23	香 森光	1	2	2	2	宿題を忘れてしまいました。
15	3	G	45	秋田 卓二	1	1	1	1	今日の授業のインターネット検索は面白かったです。
16	1	A	2	岩手 盛夫	1	2	1	2	プレゼン資料が意外と簡単にできた。
17	3	A	50	秋 田 魁雄	1	1	1	1	明日のテストで良い点数が取れるように頑張りたい。
18	3	G	30	宮 城子	1	2	1	2	ネットワークの仕組みがよく分かった。



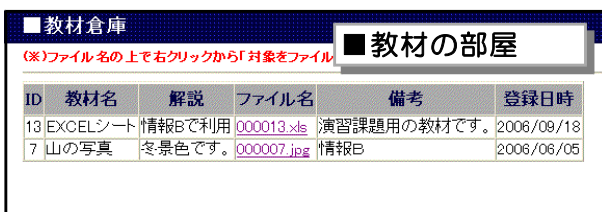
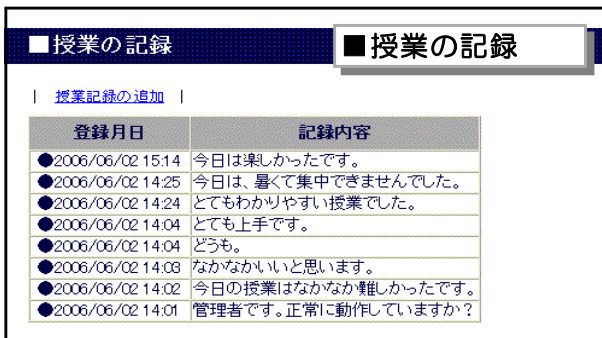
# 第4章 生徒用グループウェア『情報サイト』の活用

## 1 生徒用グループウェア『情報サイト』の概要

教科「情報」での活用を想定して作成した生徒用グループウェア『情報サイト』です。あらかじめ配布された「IDとパスワード」によってログインし、「掲示板」、「チャット」、「授業の記録」、「リンク集」、「教材の部屋」、「ネット・



ショッピング」・「ネット・オークション」、「フィッシング」のページを授業で活用します。





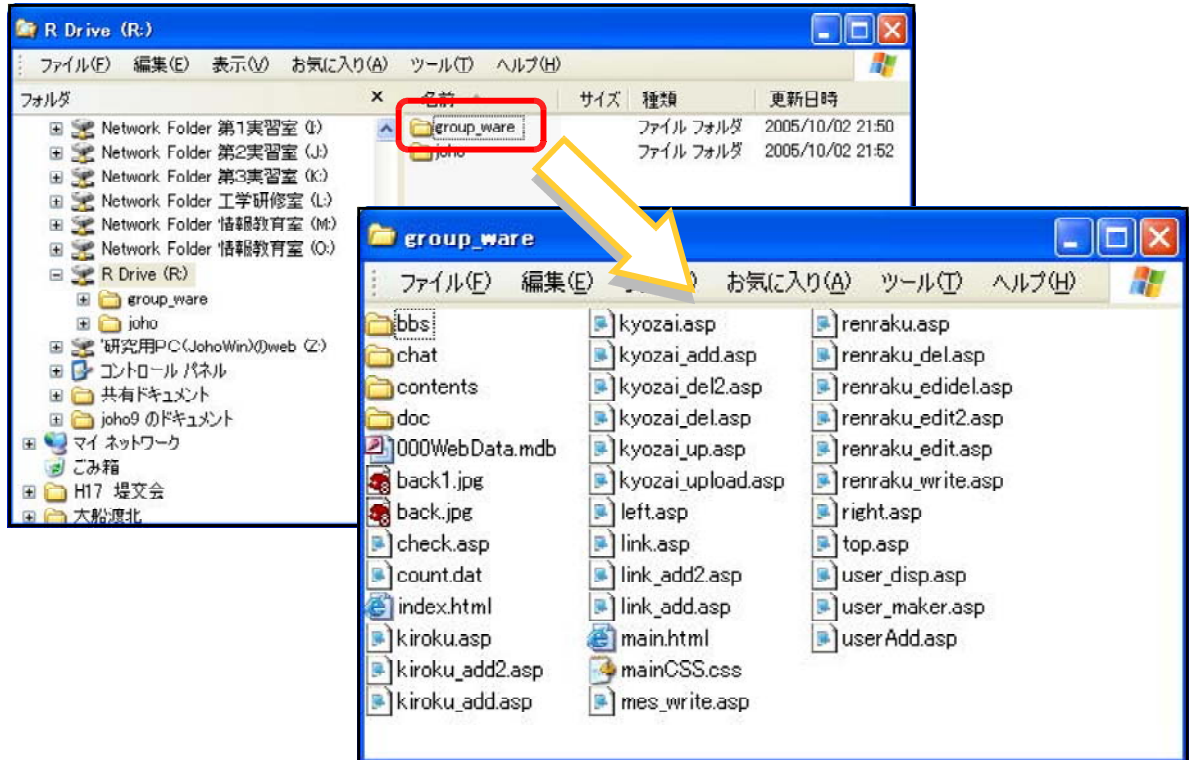
## 2 生徒用グループウェアの設置方法

配布したCD内の各スクリプトページをWebサーバ内に設置して、生徒用グループウェア『情報サイト』が動作する環境を整えてみましょう。

### (1) ASP ファイルの設置方法

(a) マイコンピュータを開き、CD ドライブ（下図ではRドライブ）をクリックします。

「joho\_site」フォルダ内のファイル全てを、Webサーバのd:\webフォルダ内に、コピーします。



(b) これで設置は終了です。以下のURLをブラウザのアドレス欄に入力し、下記のログイン画面が表示されれば、正常に動作しています。また、下記の管理者権限のIDとパスワードでログインすると、『情報サイト』のTOPページが表示されます。

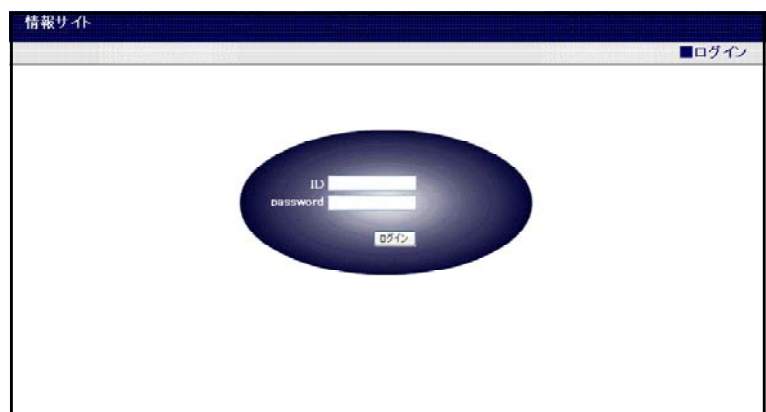
(サーバから閲覧する場合)

[http://127.0.0.1/joho\\_site/login.asp](http://127.0.0.1/joho_site/login.asp)

(サーバ以外から閲覧する場合)

[http://\(IPアドレスまたはマシン名\)/joho\\_site/login.asp](http://(IPアドレスまたはマシン名)/joho_site/login.asp)

ID : administrator / password : webadmin



## (2) コンポーネントの拡張（ファイルのアップロード）

ASP自身にはメールを送受信する機能がありません。したがって、メールを送信する場合には、外部コンポーネントを使用します。例えば、無償で提供されている『Basp21』などがよく使われ、メール関連だけではなく、ファイルのアップロードなども実現することが可能になります。

この『情報サイト』においては、「ネット・ショッピング」や「ネット・オークション」がメールの送信機能、「教材倉庫」がファイルのアップロード機能を利用することができますので、「Basp21」をインストールします。

以下に「Basp21」のインストール手順を示します。

### (a) 以下のサイトから、ダウンロードします。

クリック



Down Load! BASP21-2003-0211.exe (1.44MB) 2003/02/11 Update!  
MD5チェックサム: 26a3b30c3efcb0db9b2ce1b7557b131f

Down Load! BASP21-20010911.exe (1002KB) 2001/09/11 ひとつ前のバージョン  
MD5チェックサム: 78706c89a1daffaca2d96159a83584ea

BASP21のインストール

適当なディレクトリに BASP21.exe をダウンロードします。インストールは、BASP21.exe を実行するだけ。すぐ終わります。IISでBASP21.DLL を使っている場合、IIS Admin/WWWサービスを終了させてからインストールしてください。  
Windowsシステムディレクトリに次のファイルがコピーされます。これ以外のファイルは、一切インストールされませんので安心です。

- BASP21.DLL (180KB) 本家 (COMコンポーネント)
- BSMTP.DLL (156KB) SMTP/POP3/FTP エンジン
- BREGEXP.DLL (72KB) 正規表現 エンジン
- BCOUNT.DLL (140KB) カウンター エンジン
- BSENDM.EXE (80KB) コマンドライン メール
- BINETX.DLL (84KB) HTTP/FTP エンジン
- BASP21.TLB (10KB) BASP21 タイプライブラリ (VBやVC++で参照設定で使う)

BASP21のアンインストール

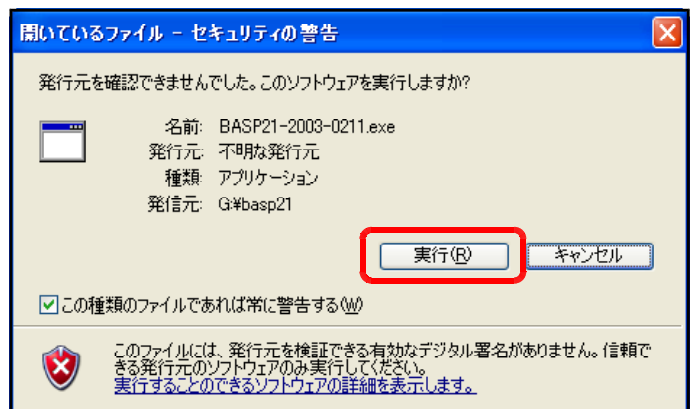
http://www.hi-ho.ne.jp/babaq/basp21.html

### (b) ダウンロードした「BASP21-2003-0211.exe」をダブルクリックして、実行します。



### (c) 「セキュリティ警告」ダイアログが表示されますが、「実行」ボタンをクリックすると、インストールは終了です。

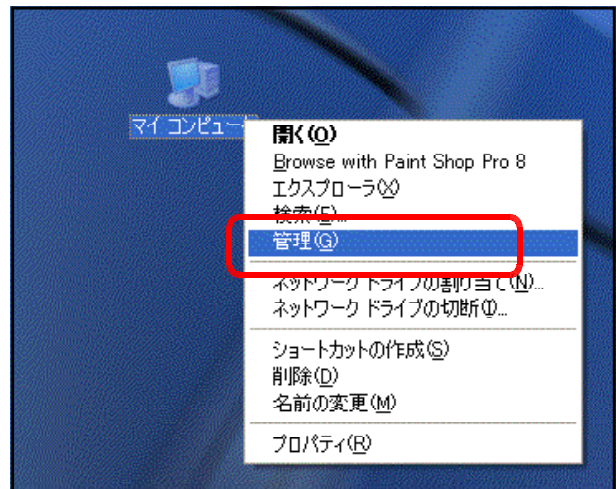
これで、メールの送受信やファイルのアップロードが可能になります。



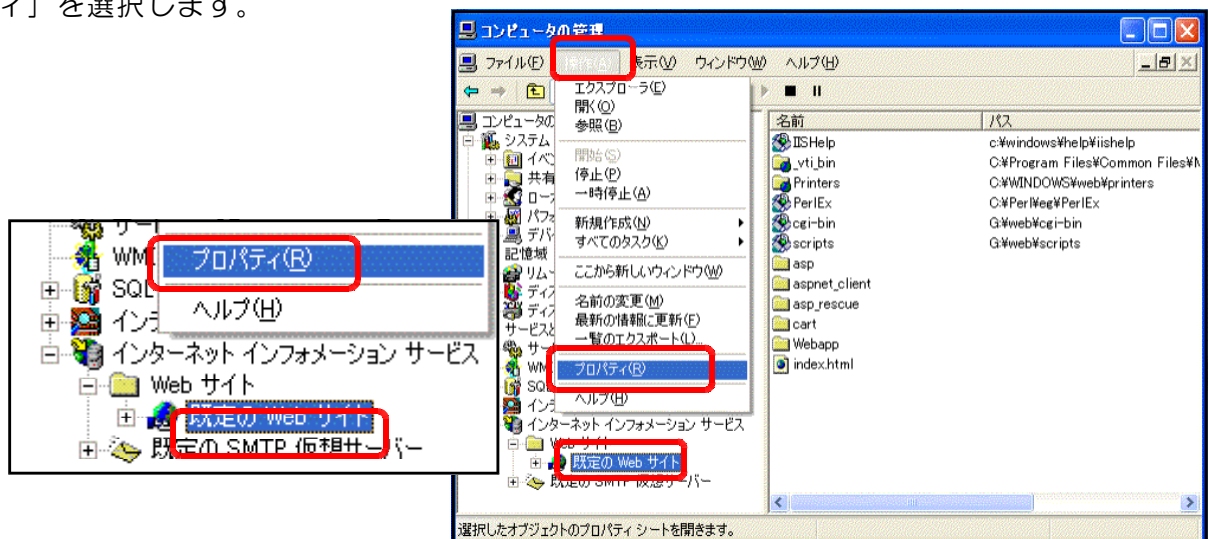
### 3 生徒用グループウェア『情報サイト』の設定方法

生徒用グループウェアの設置が終わりましたら、運用のためのWebサーバソフトの設定を行います。

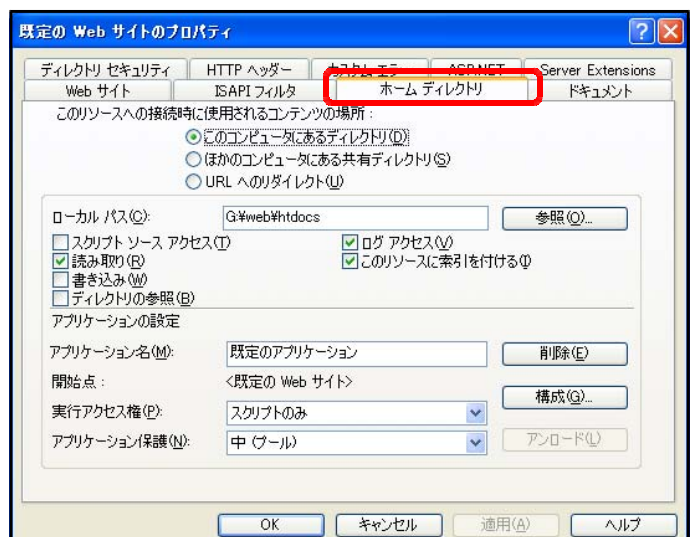
- (1) [マイコンピュータ] のアイコン上で右クリックして [管理] をクリックします。



- (2) [コンピュータの管理] パネル内の [インターネットインフォメーションサービス] - [Webサイト] - [既定のWebサイト] をクリックして、メニューから [操作] - [プロパティ] を選択します。



- (3) [既定のWebサイトのプロパティ] ダイアログが表示されますので、[ホームディレクトリ] タブをクリックします。

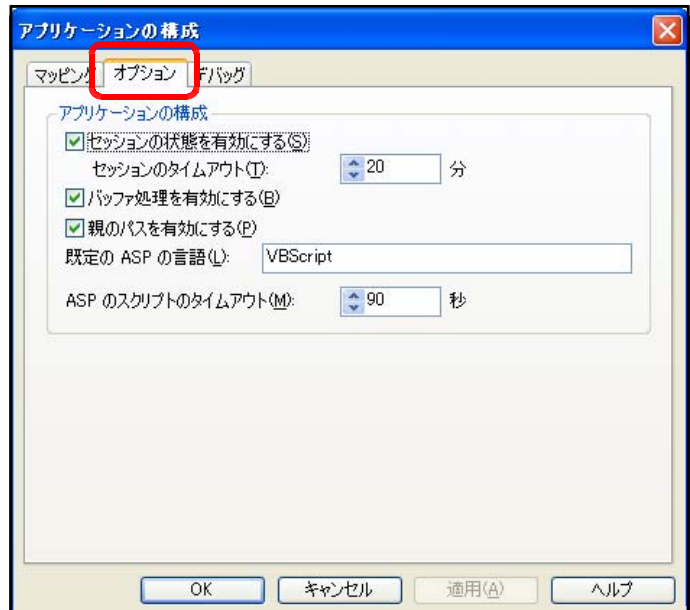




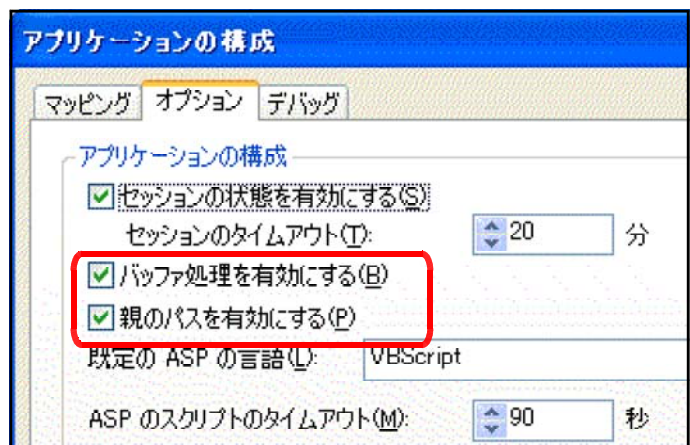
(4) [構成] ボタンをクリックします。



(5) [アプリケーションの構成] ダイアログが表示されますので、[オプション] タブをクリックします。



(6) [バッファの処理を有効にする] と [親のパスを有効にする] 両方にチェックを入れて、設定終了です。



(※) Webサーバソフト (IIS) のバッファを有効にすることで、解析されたスクリプト (タグ) が即時にクライアントのブラウザに送られるのではなく、サーバに蓄積されスクリプトの終了と同時に送信されることで、パフォーマンスが向上します。

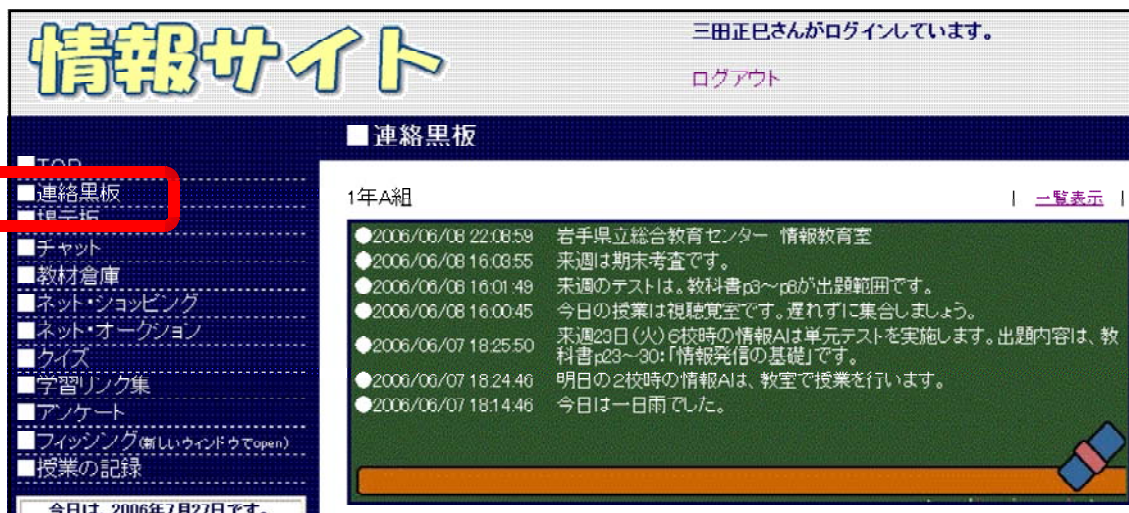
## 4 生徒用グループウェア『情報サイト』の利用方法

### (1) 連絡黒板

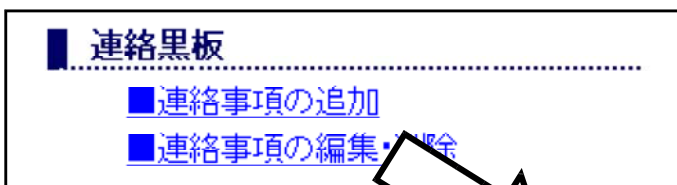
管理者（指導者）から、児童生徒（利用者）に対しての連絡事項を表示することができます。

#### 【特徴】

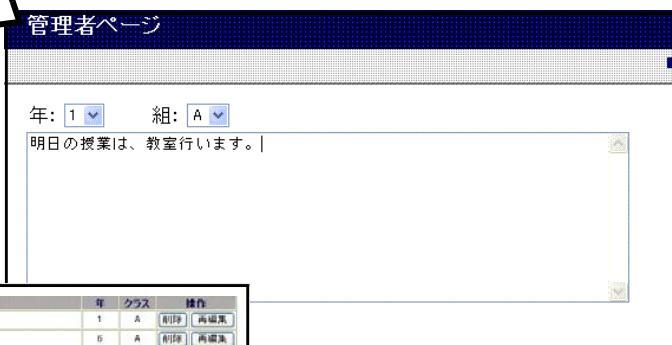
- クラス単位での連絡事項を表示できます。
- TOPページでの表示は、最新の記事10件までです。
- すべての連絡記事を表示させるには、画面中の | 一覧表示 | をクリックします。



#### 管理画面



管理画面から「連絡黒板」－ [■ 連絡事項の追加] [■ 連絡事項の編集・削除] をクリックすると、児童生徒への連絡事項を整理できます。



ID	登録日	連絡事項	年	クラス	操作
26	2006/06/08 22:08:59	岩手県立総合教育センター 情報教育室	1	A	削除   再編集
27	2006/06/08 16:03:55	来週は期末考査です。	6	A	削除   再編集
27	2006/06/08 16:01:49	来週のテストは、教科書p8～p8が出题範囲です。	2	B	削除   再編集
28	2006/06/08 16:00:45	今日の授業は視聴覚室です。遅れずに集合しましょう。	1	A	削除   再編集
28	2006/06/08 16:00:45	来週23日(火)6校時の情報AIは単元テストを実施します。出題内容は、教科書p23～30:「情報発信の基礎」です。	1	A	削除   再編集
29	2006/06/07 18:25:50	明日の2校時の情報AIは、教室で授業を行います。	1	A	削除   再編集
29	2006/06/07 18:14:46	今日は一日雨でした。	1	A	削除   再編集
30	2006/06/02 12:16:29	今日の授業は、視聴覚室で行います。遅れないように集合しましょう。	4	D	削除   再編集
31	2006/06/02 12:16:29	今日は晴天です。	4	D	削除   再編集
30	2006/06/02 12:16:51	今日は教科書p84～p100まで進みます。がんばりましょう。	6	F	削除   再編集
26	2006/06/02 12:16:01	今日は教科書p84～p100まで進みます。	5	T	削除   再編集



## (2) 掲示板

イントラネット内（校内or実習室内）で、掲示板利用が可能です。掲示板への書き込み方など利用のエチケットを授業の中で取り上げることができます。

### 【特徴】

- 非常にシンプルな掲示板です。「お名前」「メールアドレス」「メッセージ」のみの書き込みです。
- メールに対しては、メールアカウントにリンク設定されますので、直接メールで返信することが可能です。

http://127.0.0.1 - 情報サイト - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

# 情報サイト

三田正巳さんがログインしています。  
ログアウト

### みんなの掲示板

お名前

メールアドレス

メッセージ

■master 2006/07/27 14:20:42  
高校はもう夏休みに入っていますね。課外の真っ最中かな。。

■center 2006/07/27 14:19:57  
今日はやっと太陽がみれました。そろそろ東北地方も梅雨明けかな。。

■master  
HELLO!! BBS!!

今日は、2006年7月27日です。

7月						
日	月	火	水	木	金	土
-	-	-	-	-	-	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	-	-	-	-	-

### 管理画面

#### ■ 掲示板

■ [掲示板全データの削除](#)

管理画面から「掲示板」－ [[■掲示板全データの削除](#)] をクリックすると、書き込まれている掲示板データがすべて削除されます。

### (3) チャット

シンプルなチャットです。リアルタイムに会話をするには最適です。

#### 【特徴】

- IPアドレスが表示されます。
- ハンドルネームとIPアドレスの関係を授業で取り扱うことが可能です。



#### 管理画面



管理画面から「チャット」－ [■チャット全データの削除] をクリックすると、書き込まれているチャットの全データが削除されます。

## (4) 教材倉庫

授業を利用する教材を登録しておくことによって、児童生徒が必要に応じてダウンロードすることができます。

### 【特徴】

- 管理者（指導者）が事前に授業で配布・利用させる教材（画像・動画などのファイル）を登録することができます。
- 利用者（児童生徒）は必要に応じて、ここからダウンロードすることができます。

http://127.0.0.1 - 情報サイト - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

# 情報サイト

三田正巳さんがログインしています。  
ログアウト

## 教材倉庫

～ ファイルをダウンロードするには、アンカー上で右クリックから「名前を付けてファイルを保存」

ID	教材名	解説	ファイル名	備考	登録日時
7	写真その3	undl\ubkb	000007.jpg	情報B	2006/06/05

今日、2006年7月27日です。

7月

日	月	火	水	木	金	土
-	-	-	-	-	-	1
2	3	4	5	6	7	8

### 管理画面

#### 教材倉庫

[教材の追加](#)

[教材の削除](#)

管理画面から「教材倉庫」  
→ [教材の追加](#) [教材の削除](#) をクリックすると、  
新規教材の登録と削除ができます。

登録する教材の情報を入力してください。

●教材名

自動計算できるexcelのシート

●解説

●備考



## (5) ネット・ショッピング

実際のインターネット上にあるネット・ショッピングと同様、ユーザ登録を行うところから、注文確認のメール返信まで行うことができます。

### 【特徴】

- 新規ユーザは、各自の個人情報を入力することで登録完了します。
- 購入したい商品をクリックすることで、「買い物トレイ」の中に蓄積されます。
- 購入決定後は、個人のメールアドレス宛に注文確認のメールが送信されます。



外部のコンポーネント(basp21)をインストールすることで、「ユーザ登録」や「購入商品の確認」のメールを送信することができます。



### 管理画面

ネット・ショッピングに管理者権限でログインすると、商品の登録等さまざまな管理ができます。

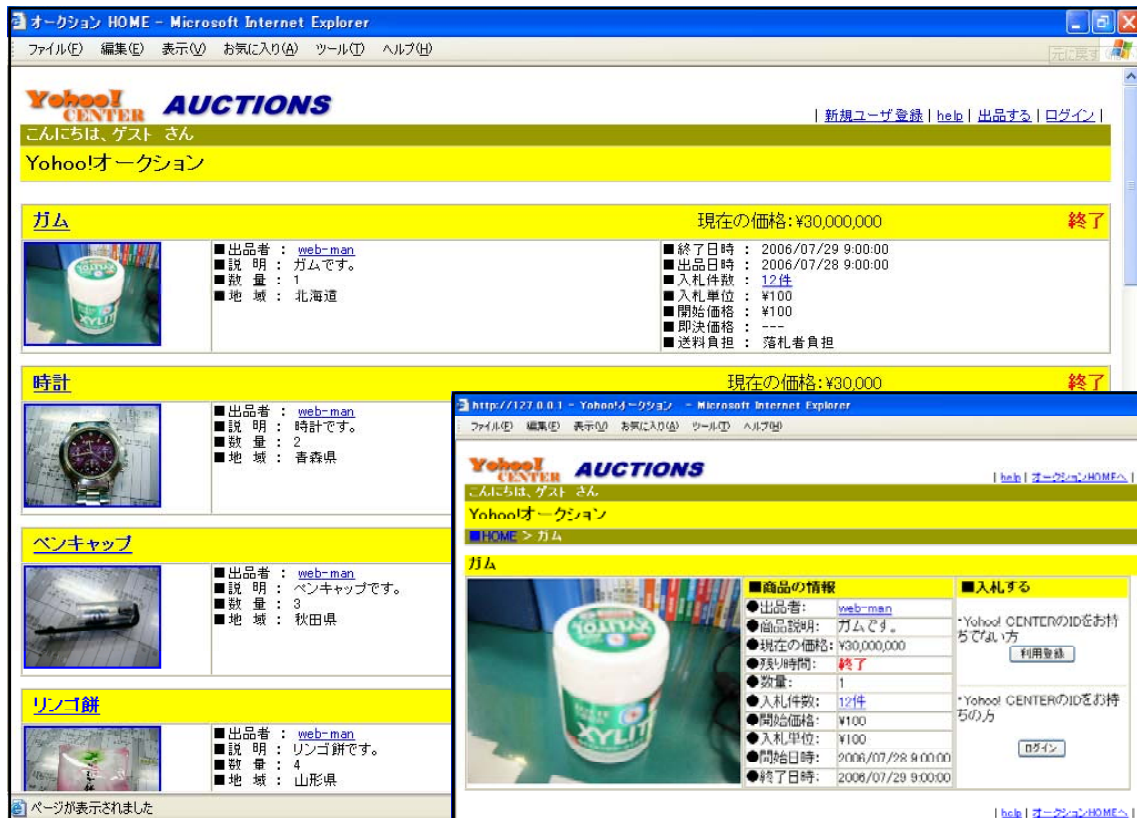


## (6) ネット・オークション

実際のインターネット上にあるネット・オークションと同様、ユーザ登録を行うところから、入札・落札までを行うことができます。

### 【特徴】

- 新規ユーザの登録が完了すると、登録確認メールが送信されます。
- 商品のサムネイルをクリックすることで、その商品の詳細を表示することができます。
- 出品する商品を独自に登録できます。
- 落札が終了すると、「落札完了メール」が送信されます。
- 管理者権限でログインすることで、商品管理が可能になります。



外部のコンポーネント(basp21)をインストールすることで、「ユーザ登録」や「落札完了」のメールを送信することができます。





## (7) クイズ

さまざまなクイズを出題することができます。

### 【特徴】

- 管理者（指導者）は、カテゴリを分類してクイズを登録することができます。
- 二択形式のクイズです。
- 〔採点〕ボタンをクリックすることで、採点されます。
- 成績ランキングを表示することができます。

### ■クイズ

No	問題	解答
1	我が国では、著作権を取得する際に文化庁への登録申請を行う必要がある。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
2	テレビからビデオに録画しそれを個人で見ることや、インターネットから得た著作物を私的利用の目的で複製することは著作権法に違反しない。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
3	インターネット上やCD-ROMに入っているようなフリーソフトは、著作権を放棄したものである。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
4	学校図書館で購入している本は、その学校の生徒に対してのみ、全部をコピーして配布してもかまわない。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
5	パソコンソフトを1パッケージ購入して、授業で生徒が使うパソコン全てにインストールすることは、授業中の利用なので、著作権法に違反しない。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
6	小説の批評のために、その中の一文を記載して、それを解説することは著作権法に違反しない。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
7	政府・地方公共団体の機関が作成した広報資料、調査統計資料、報告書などは「禁転載」の記載がない限り、説明の材料として転載することができる。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
8	学校教育活動の過程で生徒がオリジナル、利用したりすることは著作権法違反しない。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
9	A先生が教育テレビの番組をビデオで録画して、授業で生徒が使うパソコン全てにインストールすることは、授業中の利用なので、著作権法に違反しない。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
10	A先生が教育テレビの番組をビデオで録画して、授業で生徒が使うパソコン全てにインストールすることは、授業中の利用なので、著作権法に違反しない。	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×

### ■クイズ・結果

【 情報モラル1 】

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
×	○	×	×	×	○	○	○	○	×

■あなた

[ランキング](#)

### ■クイズランキング

2 情報モラル2

Rank	ハンドル名	スコア	実施日時
1	mita	40	2006年5月25日
2	mita	0	2006年5月25日
3	mita	0	2006年5月25日

## 管理画面

### ■クイズ

#### ■クイズ問題の追加

管理画面から「クイズ」－ [■クイズ問題の追加] をクリックすると、新規にクイズを登録することができます。

### 管理者ページ

No	分野
43	ネットワーク関係4
44	ネットワーク関係4
45	ネットワーク関係3
46	ネットワーク関係2
47	ネットワーク関係1
3	情報モラル2
2	情報モラル2
1	情報モラル1

【分野・項目の追加】

No	分野
48	

## (8) 学習リンク集

管理者（指導者）が、授業で利用させるWebサイトのURLを事前に登録しておくことによって、利用者（児童生徒）はリンク集として活用することができる。

### 【特徴】

- 管理者（指導者）側で事前にWebサイトのURLを登録することができる。

三田正巳さんがログインして  
ログアウト

# 情報サイト

## ■リンク集

- TOP
- 連絡黒板
- 掲示板
- チャット
- 教材倉庫
- ネット・ショッピング
- ネット・オークション
- クイズ

ID	分野	URL	サイト名
1	その他	http://www.iwate-ed.jp/	いわて教育情報ネットワーク・TOPページ
2	その他	http://www1.iwate-ed.jp/	岩手県立総合教育センターWebページ
3	その他	http://www2.iwate-ed.jp/	岩手県内の県立学校Webページリンク集
4	その他	http://www2.iwate-ed.jp/joho/	教科「情報」Webページ
5	その他	http://www.mext.go.jp/	文部科学省
6	その他	http://www.pref.iwate.jp/	岩手県Webページ

### 管理画面

■ **リンク集**

- [リンクの追加](#)
- [リンクの削除](#)

管理画面から「リンク集」－  
[■リンクの追加] [リンクの削除]  
をそれぞれクリックすると、  
登録・削除ができます。

### 管理者ページ

#### 関連リンク情報の追加

■分野:

■URL:

■サイト名:

### 管理者ページ

ID	分野	URL	サイト名	備考
1	その他	http://www.iwate-ed.jp/	いわて教育情報ネットワーク・TOPページ	削除
2	その他	http://www1.iwate-ed.jp/	岩手県立総合教育センターWebページ	削除
3	その他	http://www2.iwate-ed.jp/	岩手県内の県立学校Webページリンク集	削除
4	その他	http://www2.iwate-ed.jp/joho/	教科「情報」Webページ	削除
5	その他	http://www.mext.go.jp/	文部科学省	削除
6	その他	http://www.pref.iwate.jp/	岩手県Webページ	削除

## (9) アンケート

利用者（生徒児童）に対して、Webページ上でアンケートをとることができます。YES/NOなど2択形式での回答に対応しています。

### 【特徴】

- 管理者（指導者）が、アンケート内容を作成して、質問項目を登録することができます。

ID	カテゴリ	質問	回答
1	1	岩手県立総合教育センターは何市にあるか？	<input type="radio"/> 北上市 / <input type="radio"/> 花巻市
2	1	センターの中庭は何と呼ばれているか？	<input type="radio"/> アザリアの庭 / <input type="radio"/> ダリアの庭
3	1	池にいる魚は何か？	<input type="radio"/> 鮭 / <input type="radio"/> 鯉
4	1	センターの宿泊施設の名前は？	<input type="radio"/> 瞑想館 / <input type="radio"/> 明窓館
5	1	教育センターに隣接する施設は何か？	<input type="radio"/> 生涯学習推進センター / <input type="radio"/> 教育委員会
6	1	情報教育室には実習室が何室あるか？	<input type="radio"/> 5室 / <input type="radio"/> 4室
7	1	センターで利用されているグループウェアの名称は？	<input type="radio"/> ウミボウズ / <input type="radio"/> サイボウズ
8	1	センターは何階建ての建物か？	<input type="radio"/> 4階 / <input type="radio"/> 2階
9	1	現在のセンターは何年に建てられたか？	<input type="radio"/> 昭和63年 / <input type="radio"/> 平成元年
10	1	現所長は何代目か？	<input type="radio"/> 15代目 / <input type="radio"/> 9代目

### 管理画面

管理画面から「アンケート」－ [■アンケート・カテゴリ作成] をクリックすると、アンケート作成画面が表示されます。

No	カテゴリ	備考
5	中国について	<input type="button" value="編集"/>
4	アメリカについて	<input type="button" value="編集"/>
3	日本について	<input type="button" value="編集"/>
2	岩手県について	<input type="button" value="編集"/>
1	岩手県立総合教育センターについて	<input type="button" value="編集"/>



## (10) フィッシング

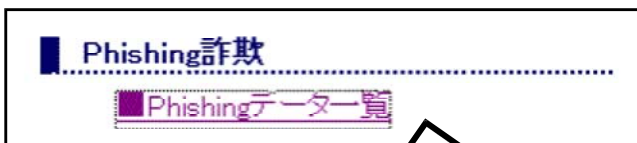
フィッシング（Phishing）詐欺を真似たWebページを提示することができます。

### 【特徴】

- カード番号／暗証番号／有効期限などを入力することができます。
- 個人情報を収集する方法の一つである。



### 管理画面



管理画面の「Phishing 詐欺」  
－ [■ Phishing データ一覧]  
をクリックすると、入力され  
た一覧が表示されます。

ID	カード番号	暗証番号	有効期限 月 年	電子メール
1	nx snxnw	34r4r43r4	02 09	m-mita@center.iwate-ed.jp
2	nx snxnw	1234567890	02 09	m-mita@center.iwate-ed.jp
3	nx snxnw	1234567890	02 09	m-mita@center.iwate-ed.jp
4	232132432423432	cdecdcds	01 06	m-mita@center.iwate-ed.jp
5	92838-33848-43381	022889181	01 06	m-mita@center.iwate-ed.jp

## (11) 授業の記録

各利用者（児童生徒）が、授業の最後に「授業記録」や「授業反省」として入力できます。

### 【特徴】

- 蓄積していくことで、授業の振り返りができます。

情報サイト

三田正巳さんがログインしています。  
ログアウト

■授業の記録

授業記録の追加

登録月日	記録内容
●2006/06/08 22:06	よく分かりました。
●2006/06/08 16:59	今日は、予習した 甲斐があり、とても良くわかりました。
●2006/06/03 14:01	今日は天気がいいですね。

■授業の記録

～ 今日の授業の反省等を入力しましょう ～

[2006/07/27 / 15:13:02]

登録

今日は、2006年8月2日です。  
8月

### 管理画面

■ 授業の記録

- 授業の記録一覧表示
- 授業の記録一覧(クラス)表示

管理画面「授業の記録」－ [■ 授業の記録一覧表] [■ 授業の記録一覧(クラス)表示] をクリックすると、それぞれ児童生徒の書き込んだ情報を一覧表示できます。

ID	登録月日	記録内容	記録者	年組
19	●2006/06/08 22:06	よく分かりました。	三田正巳	1 A
18	●2006/06/08 16:59	今日は、予習した 甲斐があり、とても良くわかりました。	三田正巳	1 A
17	●2006/06/03 14:01	今日は天気がいいですね。	三田正巳	1 A
16	●2006/06/02 15:30	今日はとても眠たかったです。	生徒20	4 D
15	●2006/06/02 15:20	今日は暑いです。	生徒20	4 D
14	●2006/06/02 15:14	今日は楽しかったです。	管理者	
13	●2006/06/02 14:25	今日は、暑くて集中できませんでした。		
12	●2006/06/02 14:24	とてもわかりやすい授業でした。		
11	●2006/06/02 14:04	とても上手です。		
10	●2006/06/02 14:04	どうも。		
9	●2006/06/02 14:03	なかなかいいと思います。		
8	●2006/06/02 14:02	今日の授業はなかなか難しかったです。		
7	●2006/06/02 14:01	管理者です。正常に動作していますか？		
6	●2006/06/02 14:00	今日の授業はとても理解しやすかったです。		
5	●2006/06/02 13:59	今日の授業はとても理解しやすかったです。		
4	●2006/06/02 10:52	今日は、早く帰りたいです。		
3	●2006/06/02 10:51	今日はとても天気がいい日です。		
2	●2006/06/01 21:43	とても楽しい授業でした。		
1	●2006/06/01 21:40	今日の授業は、予習していったのでだいぶ理解できました。		



## (12) 授業の記録

以下のURLから、管理者権限でログインすると「管理者サイト」が表示されます。

http://○○○/joho\_site/admin.asp

ID : administrator / password : webadmin



上記の管理者サイトでは、次のメニューから各種変更をすることができます。

<ul style="list-style-type: none"><li>■ ユーザ<ul style="list-style-type: none"><li>・ ユーザ登録・削除 (先生用)</li><li>・ ユーザ登録・削除 (生徒用)</li><li>・ ユーザ登録 (csvファイルから)</li></ul></li><li>■ クイズ<ul style="list-style-type: none"><li>・ クイズカテゴリの追加</li><li>・ クイズ問題の追加</li></ul></li><li>■ 教材倉庫<ul style="list-style-type: none"><li>・ 教材の追加</li><li>・ 教材の削除</li></ul></li><li>■ リンク集<ul style="list-style-type: none"><li>・ リンクの追加</li><li>・ リンクの削除</li></ul></li><li>■ 連絡黒板<ul style="list-style-type: none"><li>・ 連絡事項の追加</li><li>・ 連絡事項の編集・削除</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 授業の記録<ul style="list-style-type: none"><li>・ 一覧表示</li><li>・ 一覧 (クラス) 表示</li></ul></li><li>■ 掲示板<ul style="list-style-type: none"><li>・ 掲示板全データ削除</li><li>・ 掲示板データ (IP付) 表示</li></ul></li><li>■ チャット<ul style="list-style-type: none"><li>・ メニュー表示 / 非表示</li><li>・ 表示名編集</li><li>・ カテゴリ追加</li><li>・ データ削除01~20</li><li>・ データ表示 (IP付) 01~20</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ Phishing詐欺<ul style="list-style-type: none"><li>・ Phishingデータ一覧</li><li>・ Phishingデータの削除</li></ul></li><li>■ アンケート<ul style="list-style-type: none"><li>・ アンケートカテゴリ作成</li><li>・ アンケート項目・問題作成</li></ul></li><li>■ その他<ul style="list-style-type: none"><li>・ Accessログ表示</li><li>・ メニュー設定</li><li>・ 項目追加・削除</li><li>・ 項目編集</li></ul></li></ul>
--	---	--

『情報サイト』 機能一覧

	機能	ゲスト	生徒・児童	管理者
■ユーザ関連	■ログイン		○ ※1	○ ※2
	■ログアウト		○ ※1	○ ※2
	■user登録（個人ごと）			○ ※2
	■user登録（CSV一括）			○ ※2
■その他 ■クイズ	■Accessログの表示			○ ※2
	■QUIZ問題の閲覧		○ ※1	○ ※2
	■QUIZ問題への回答		○ ※1	○ ※2
	■QUIZの採点		○ ※1	○ ※2
	■ランキング表示		○ ※1	○ ※2
	■QUIZの問題追加			○ ※2
■教材倉庫	■教材のダウンロード		○ ※1	○ ※2
	■教材の追加			○ ※2
	■教材の削除			○ ※2
■学習 リンク集	■リンク集の閲覧		○ ※1	○ ※2
	■リンクURLの追加			○ ※2
	■リンクURLの削除			○ ※2
■連絡黒板	■連絡事項の閲覧		○ ※1	○ ※2
	■連絡事項の追加			○ ※2
	■連絡事項の編集・削除			○ ※2
■授業の記録	■授業記録の閲覧		○ ※1	○ ※2
	■授業記録の入力		○ ※1	○ ※2
	■一覧表示			○ ※2
	■一覧表示（クラス単位）			○ ※2
■掲示板	■掲示板の閲覧		○ ※1	○ ※2
	■掲示板への入力		○ ※1	○ ※2
	■全データ削除			○ ※2
■チャット	■チャットの閲覧		○ ※1	○ ※2
	■チャットへの入力		○ ※1	○ ※2
	■全データ削除			○ ※2
■Phishing 詐欺	■Phishingページの閲覧		○ ※1	○ ※2
	■Phishingデータの入力		○ ※1	○ ※2
	■取得データの一覧表示			○ ※2
■アンケート	■アンケート項目の閲覧		○ ※1	○ ※2
	■アンケート項目の入力		○ ※1	○ ※2
	■カテゴリの作成			○ ※2
■ネット オークション	■商品の閲覧	○ ※3	○ ※3	○ ※3
	■商品の検索	○ ※3	○ ※3	○ ※3
	■user登録	○ ※3	○ ※3	○ ※3
	■入札		○ ※3	○ ※3
	■出品		○ ※3	○ ※3
	■出品削除			○ ※3
	■user一覧表示			○ ※3
	■user一括登録			○ ※3
	■落札商品の一覧表示			○ ※3
	■mail設定変更			○ ※3
	■mail送信履歴の表示			○ ※3
■ネット ショッピング	■商品の閲覧	○ ※4	○ ※4	○ ※4
	■user登録	○ ※4	○ ※4	○ ※4
	■商品の検索		○ ※4	○ ※4
	■user一括登録			○ ※4
	■user一覧表示			○ ※4
	■商品の削除			○ ※4
	■商品の追加			○ ※4
	■商品情報の編集			○ ※4

※1 管理者ページへログインすることで操作可能。

[http://○○○/joho\\_site/login.asp](http://○○○/joho_site/login.asp)

※2 administrator権限でログインすることで操作可能。

[http://○○○/joho\\_site/admin.asp](http://○○○/joho_site/admin.asp)

※3各ユーザとも同一サイトへログインすることで操作可能。

[http://○○○/joho\\_site/auction/prod\\_list.asp](http://○○○/joho_site/auction/prod_list.asp)

※4 各ユーザとも同一サイトへログインすることで操作可能。

[http://○○○/joho\\_site/disp\\_product.asp](http://○○○/joho_site/disp_product.asp)

## 【動作環境】

### ■サーバ環境

- ・ OS : Windows 2003 Server / Windows 2000 Server
- ・ Webサーバソフト : IIS6.0または5.0 (Internet Information Services)
- ・ HD (空き容量) : 50MB以上

### ■クライアント環境

- ・ OS : WindowsXP Professional or Home / Me / 98 / 2000
- ・ 必要メモリ : 128MB以上
- ・ CPU : Pentium 233MHz以上
- ・ HD (空き容量) : 50MB以上
- ・ ブラウザ : Internet Explorer 5.01以上

### ■開発環境

- ・ 言語 : VBScript (ASP技術利用)
  - ・ エディタ : サクラエディタ
- 
-

## 【文字列関数】

### ■ Instr

<機能> 文字列の先頭から検索して、見つかった文字位置を返す  
 <書式> Instr (str1,str2)  
 <引数> str1 : 検索対象の文字列  
       str2 : str1 内で検索する部分文字列

### ■ InStrRev

<機能> 文字列を後ろから検索する  
 <書式> InStrRev (str1,str2)  
 <引数> str1 : 検索対象の文字列  
       str2 : str1 内で検索する部分文字列

### ■ Len

<機能> 文字列の文字数を返す  
 <書式> Len (str)  
 <引数> str : 対象の文字列

### ■ Left

<機能> 文字列を左端から指定した文字数分だけを返す  
 <書式> Left (str,intLen)  
 <引数> str : 元になる文字列  
       intLen : 取り出す文字列の長さ

### ■ Mid

<機能> 文字列を指定位置から指定文字数分だけを返す  
 <書式> Mid (str,intStart)  
 <引数> str : 元になる文字列  
       intStart : 開始文字位置

### ■ UCase

<機能> アルファベットの小文字を大文字に変換する  
 <書式> UCase (str)  
 <引数> str : 対象とする文字列

### ■ LCase

<機能> アルファベットの大文字を小文字に変換する  
 <書式> LCase (str)  
 <引数> str : 対象とする文字列

### ■ Trim

<機能> 文字列の前後のスペースを削除する  
 <書式> Trim (str)  
 <引数> str : 対象とする文字列

### ■ Split

<機能> 区切り文字で文字列を分割し、分割単位に配列を作る  
 <書式> Split (expression,strDeli)  
 <引数> expression : 区切り文字を含んだ文字列  
       strDeli : 区切り文字に使用する文字列

### ■ Replace

<機能> 文字列の一部を指定された部分文字列で置き換える  
 <書式> Replace (strExp,strSrc,strReplace)  
 <引数> strExp : 置き換え文字列を含む文字列  
       strSrc : 置き換え対象文字列  
       strReplace : 置き換え後の文字列



## 【数値関数】

### ■ CInt

<機能> 整数型に変換する  
<書式> CInt (var)  
<引数> var : 変換対象の数値

### ■ FormatCurrency

<機能> 通貨形式の文字列に変換する  
<書式> FormatCurrency (varExp,intDig,intLeadDig)  
<引数> varExp : 書式を変換する式  
intDig : 小数点以下に表示する桁数  
intLeadDig : 小数点の左側の 0 を表示するかどうか

### ■ FormatNumber

<機能> 数値形式の文字列に変換する  
<書式> FormatNumber (varExp,intDig,intLeadDig)  
<引数> varExp : 書式を変換する式  
intDig : 小数点以下に表示する桁数  
intLeadDig : 小数点の左側の 0 を表示するかどうか

### ■ FormatPercent

<機能> パーセント形式の文字列に変換する  
<書式> FormatPercent (varExp,intDig,intLeadDig)  
<引数> varExp : 書式を変換する式  
intDig : 小数点以下に表示する桁数  
intLeadDig : 小数点の左側の 0 を表示するかどうか

### ■ Rnd

<機能> 0 以上 1 未満の乱数を求める  
<書式> Rnd

### ■ Round

<機能> 小数部分を丸める  
<書式> Round (num,intDP1)  
<引数> num : 対象とする数値  
intDP1 : 丸める小数点位置

## 【日付関数】

### ■ Date

<機能> システム日付を取得  
<書式> Date

### ■ Now

<機能> システム日付時刻を取得  
<書式> Now

### ■ FormatDateTime

<機能> 日付または時刻形式の文字列に変換する  
<書式> FormatDateTime (varExp,intDtmFormat)  
<引数> varExp : 書式を変換する式  
intDtmFormat : 日付形式を表す数値

### ■ DateAdd

<機能> 日付（時間）を加算する  
<書式> DateAdd (strInterval,lngNum,dtm)  
<引数> strInterval : 時間間隔の単位  
lngNum : 追加する時間間隔  
dtm : 元となる日付式

## ■ DateDiff

<機能> 2つの時間間隔を求める  
<書式> DateDiff (strInterval,dtm1,dtm2)  
<引数> dtm1,dtm2 : 元となる日付  
intInterval : 時間間隔の単位

## ■ DateSerial

<機能> 日付式を生成する  
<書式> DateSerial (lngYear,lngMonth,lngDay)  
<引数> lngYear : 年 (100 ~ 9999)  
lngMonth : 月 (1 ~ 12)  
lngDay : 日 (1 ~ 31)

## ■ Year

<機能> 年を取得  
<書式> Year (dat)  
<引数> dat : 日付式

## ■ Month

<機能> 月を取得  
<書式> Month (dat)  
<引数> dat : 日付式

## ■ Day

<機能> 日を取得  
<書式> Day (dat)  
<引数> dat : 日付式

## 参考資料 URL

- ASPの公園 <http://www.f-store.net/asp/home.asp>
- TRY! ASP <http://tryasp.winscom.co.jp/>
- ASPゆいちゃっと <http://www002.upp.so-net.ne.jp/wing-net/aspyui/>
- 出来るのだASP <http://www.yasch.com/asp/>

## 参考資料 文献

- ASP逆引き大全 555の極意 堀田健也/秀和システム
- ASPによるWebアプリケーション スーパーサンプル 西沢直木/ソフトバンク(株)
- ASPハンドブック 山田祥寛 鈴木浩/ソフトバンク(株)
- ASP 300の技 Windowsプログラミング愛好会/技術評論社
- Access2000 Webデータベースプログラミング 河野春夫/エーアイ出版(株)
- Access2002+ASP Webデータベースプログラミング 河野春夫/エーアイ出版
- SQL逆引き大全 333の極意 國吉直樹他/秀和システム

## 参考資料 SQL文

データベースファイル (\*.mdb) 内のテーブルに対しての問い合わせは、SQL文を用いて操作します。

【table1】

ID	NAME	ADDRESS
----	------	---------

### ■ テーブルの全てを抽出

```
select * from table1
```

### ■ データの並び替え

```
select * from table1 order by ID      (IDを昇順で)  
select * from table1 order by ID desc (IDを降順で)
```

### ■ 条件による検索 (ID=5のデータを検索)

```
select * from table1 where ID = 5
```

### ■ テーブルに新規にレコードを追加する

```
insert into table1 (ID,NAME,ADDESS) values ('5','YAMADA','hanamaki')
```

### ■ テーブルから条件に一致したレコードを削除する

```
delete from table1 where ID = 5
```

### ■ テーブルから条件に一致したレコードの値を更新する

```
update table1 set NAME = 'SASAKI' where ID = 5
```

<memo>

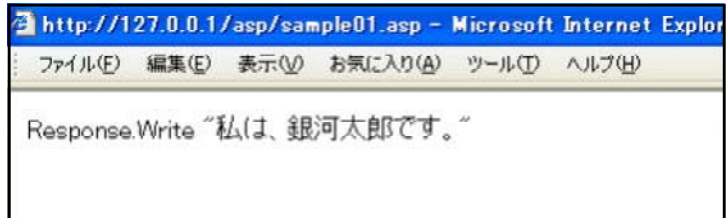
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

## 参考資料 エラー表示

ASPファイル内のスクリプトにエラーがある場合は、内容やエラーが起きている行を指示してくれるので、その箇所を修正して正しいものにしていきます。正常に動作しない原因はさまざま考えられますが、エラー表示の内容から原因を追及してみましょう。

以下に、いくつかのエラーに対する対処法を示しておきます。

### ■エラー表示が表示されずに、スクリプトの内容が表示されてしまった。



#### 【修正前】

```
<html>
<head></head>
<body>

Response.Write "私は、銀河太郎です。"

</body>
</html>
```

#### 【修正後】

```
<html>
<head></head>
<body>
<%
Response.Write "私は、銀河太郎です。"
%>
</body>
</html>
```

(※) スクリプトの部分を<%~%>で囲む。

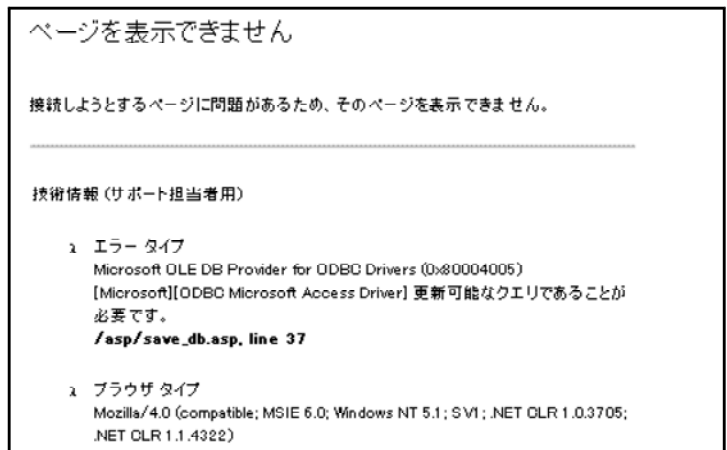
### ■一般エラーの表示がされてしまった。

(※) Accessファイル(mdb)と接続されているページでは、Accessのファイルを開いていると、右のようなエラー表示がされます。Accessファイルを閉じて、再表示してください。



### ■「更新可能なクエリがあることが必要です」と表示された。

(※) データベースファイルへのアクセス権限を確認してください。データベースファイルのプロパティから「セキュリティ」タブをクリックして、権限を「フルコントロール」に設定します。



### ■CD内のフォルダ構成



完成版

この配下のフォルダをWebサーバ内にコピーするだけで活用できます。

作成データ

本テキストの演習内容に沿って作成していくための基本ファイルです。



CDラベル



岩手県立総合教育センター 情報教育室  
平成18年10月1日